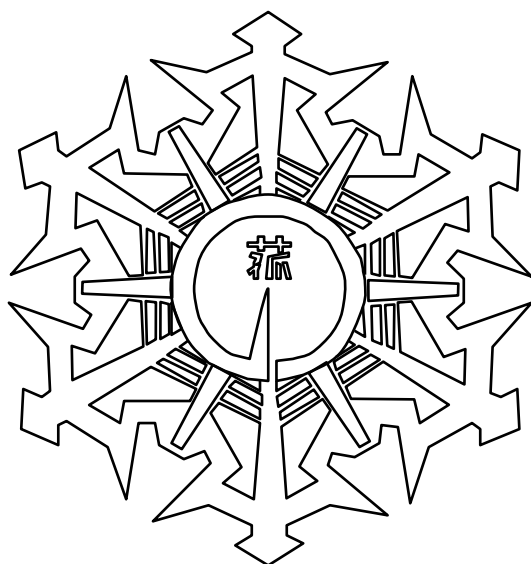


消防年報



三重県
菰野町消防本部
(令和8年版)

は じ め に

本書は、菰野町における消防情勢と消防諸般の状況を記録し、
将来の消防行政運営上の指針とするために編集しました。

統計資料は特に記載のあるものを除き、令和7年中をもって
表しました。

令和8年8月

三重県 こも の ちょう 菰野町 消防本部

目 次

消 防 情 勢

菰野町の概要、位置図	1
菰野町消防本部のあゆみ	2
令和7年中の主な行事	6
歴代消防長	
消防本部、消防署の組織、機構及び事務分掌	7
消防予算（当初額）	8
一般会計予算に占める消防費の割合（当初額）	
消防費に対する人口、世帯当り額	
消防力の整備指針と現有消防力の比較	9
職員階級別、所属別配置状況	10
職員階級別勤続年数状況	
職員階級別年齢状況	11
消防本部（署）庁舎の概要	12
現有消防車両	
通信施設状況	13
消防水利状況	14
各種研修実施状況	
外部研修等派遣状況	15
応急手当普及啓発活動実施状況	16
自主防災組織	17
緊急避難所	18
風水害時における緊急避難所を補完する施設	19
収容避難所	
収容避難所を補完する施設	20

消 防 団

菰野町消防団の沿革	21
歴代消防団長（合併以降）	
消防団の機構、団員数	22
年齢別、階級別消防団員数	23
在職年数別消防団員数	
消防団員報酬	
消防団員出動報酬	

消防団員職業別構成数	24
消防団消防車両配置状況	

予 防

防火対象物現況	25
用途別建築同意状況	26
工事別建築同意状況	27
過去 5 年間の建築同意状況	
危険物施設現況	28
危険物施設許可認可状況	
各種届出処理状況	29
消防用設備等設置検査実施状況	
広報、啓発活動状況	30

火 災

火災事案発生状況	31
過去 5 年間の火災事案発生状況	
地区別火災発生状況	32
月別火災発生状況	
曜日別火災発生状況	
時間別火災発生状況	33
火災出動状況	
火災出動区分詳細	
絵で見る火災原因	34
全国の主な出火原因（上位 10 位）	

救 急、救 助

救急事案発生状況	35
過去 5 年間の救急事案発生状況	
事故種別救急出動件数、搬送人員	36
現場到着所要時間別救急出動件数（覚知～現場到着）	
収容所要時間別救急搬送人員（覚知～医療機関到着）	
年齢区分別救急搬送人員	37
傷病程度別救急搬送人員	
地区別救急出動状況	

月別救急出動状況	38
曜日別救急出動状況	
時間別救急出動件数	
年齢区分別、傷病程度別救急搬送人員	39
事故種別、年齢区分別救急搬送人員	
事故種別、傷病程度別救急搬送人員	
事故種別、時間別救急出動件数	40
事故種別、応急処置件数	
事故種別、医療機関別救急搬送人員	41
救助事案発生状況	42
過去 5 年間の救助事案発生状況	
事故種別、救助出動件数・救助人員	43
事故種別、救助出動人員	
事故種別、救助出動車両	
地区別救助出動状況	44
月別救助出動状況	
曜日別救助出動状況	
時間別救助出動状況	
過去 5 年間の山岳救助事案発生状況	45
山岳救助発生場所	
年代別山岳救助発生状況	
月別山岳救助出動状況	46
曜日別山岳救助出動状況	
時間別山岳救助出動状況	

気 象、通 信、その他

月別気象状況と火災件数	47
月別気温概況	48
月別降水量概況	
月別湿度概況	49
月別風速概況	
気象通報受信状況	50
三重北消防指令センター119 番通報受付取扱状況	51
菰野町消防本部管内月別 119 番通報受付取扱状況	
菰野町消防本部管内回線別 119 番通報受付取扱状況	
災害件数の推移	52

消防情勢



近年、各種災害は複雑多様化しており、消防に求められる役割はますます重要となっています。当消防本部では、火災予防の推進と各種災害への対応力強化に努め、地域住民の安全、安心の確保に取り組んでいます。

町長点検

令和7年4月3日

於：菰野町消防本部

菰野町の概要、位置図

菰野町は三重県の北西部に位置し、西は鈴鹿山脈を境に滋賀県、北はいなべ市、東と南は四日市市に隣接している。

町の約3分の1を占める山岳地帯は鈴鹿国定公園に指定されており、御在所岳、釈迦ヶ岳、鎌ヶ岳などは、多くのアルピニストに親しまれ、老若男女を問わず人気を集めるスポットである。

さらに霊山幽谷に出で湯を持つ湯の山温泉や雄大な眺めとスリルに富んだ御在所ロープウェイ、景勝を織りなす溪谷の数々や緑豊かな丘陵地など、菰野町は鈴鹿国定公園の玄関口としてふさわしい景観をもっている。

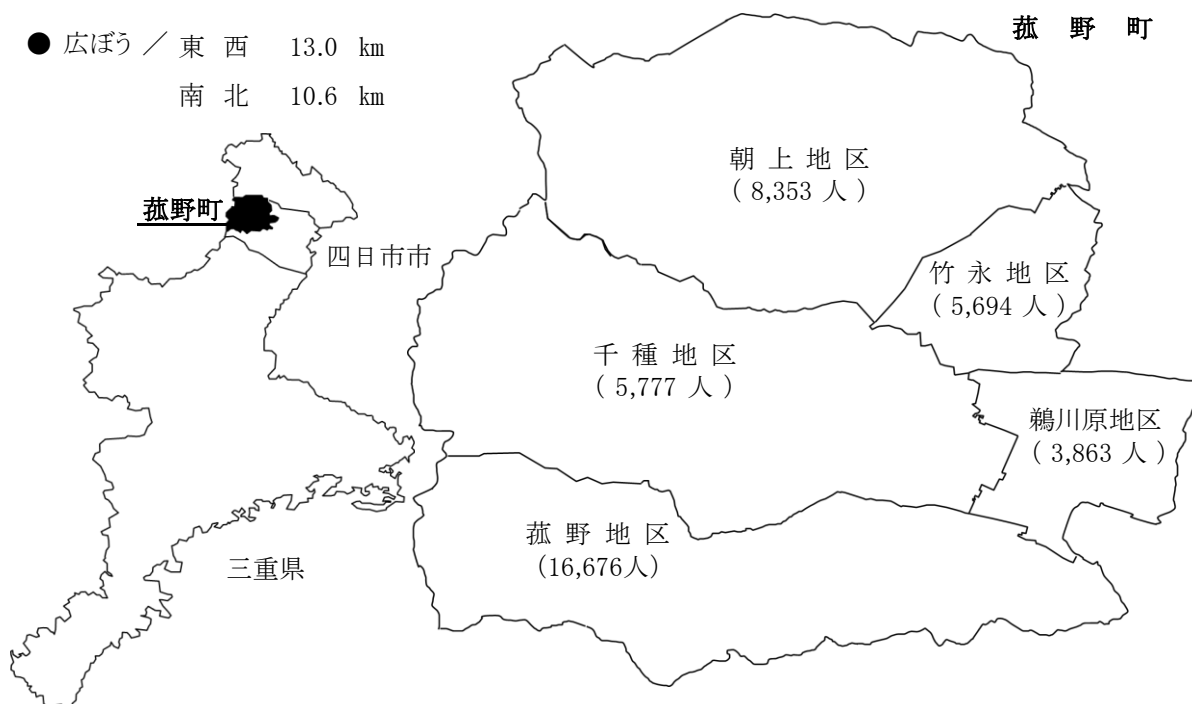
菰野町では、向かうべきまちの将来像に「支えあえる、安全で安心なまち」「豊かな自然を活かして人びとをひきつけるまち」「産業の発展と豊かな暮らしが循環するまち」「菰野らしい風景の中、子育てしやすいまち」の4つをあげ、「これらのことが、いつまでも、菰野町としてあり続けられること」を目指しています。

● 位置 / 北緯 35° 01' 43" (世界測地系) ● 人口 / 40,363 人
東経 136° 30' 25" (令和8.3.31現在)

● 面積 / 107.28 km² ● 世帯数 / 17,477 世帯
(令和8.3.31現在)

● 海拔 / 御在所岳 1,212 m (最高地)
役場(本庁舎) 77.1 m

● 広ぼう / 東西 13.0 km
南北 10.6 km



菰野町消防本部のあゆみ

昭和58年(1983)

9. 30 町議会に常備消防特別委員会設置

昭和59年(1984)

3. 5 自治省消防庁より昭和59年度における消防本部及び消防署義務設置町村政令指定（内定）を受ける。
7. 19 消防庁舎建設工事着工
8. 24 日本消防協会より救急車（2B型）の寄贈を受ける。
10. 21 役場庁舎において救急業務開始（総務課消防防災係16名）

昭和60年(1985)

1. 31 消防庁舎完成（コミュニティ防災センターを併設）
2. 14 消防庁舎において試行業務開始
- ※ 4. 1 **菰野町消防本部 消防署発足**
消防本部に消防課、予防課を置き、消防署に警防課を置く。
定数31名 車両5台
4. 2 消防庁舎竣工式及び開署式

昭和61年(1986)

3. 25 ポンプ車（CD－I型）購入
11. 19 普通貨物自動車購入

昭和62年(1987)

2. 26 はしご車（30m級）購入
10. 14 （社）日本損害保険協会より救助工作車の寄贈を受ける。
10. 28 広報車購入

昭和63年(1988)

4. 12 三重県消防職員意見発表会にて最優秀賞を獲得する。
4. 21 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得する。
7. 27 消防救助技術東海地区指導会水上の部（溺者救助）にて入賞する。
8. 19 全国消防救助技術大会水上の部（溺者救助）にて入賞する。

平成元年(1989)

1. 24 救急車（2B型）購入
4. 18 菰野ライオンズクラブより広報車の寄贈を受ける。

平成2年(1990)

8. 2 消防救助技術東海地区指導会水上の部（溺者救助）にて入賞する。
8. 24 全国消防救助技術大会水上の部（溺者救助）にて入賞する。

平成4年(1992)

4. 10 三重県消防職員意見発表会にて最優秀賞を獲得する。
4. 23 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得する。

平成5年(1993)

12. 24 訓練塔敷地造成工事開始

平成6年(1994)

- 4. 1 菰野町職員定数条例（消防職員）改正（定数33名）
- 4. 8 三重県消防職員意見発表会にて最優秀賞を獲得する。
- 4. 27 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得する。

平成7年(1995)

- 2. 16 水槽付ポンプ車（水－ⅠA型）購入
- 3. 18 訓練塔竣工式
- 12. 22 消毒室完成

平成8年(1996)

- 3. 18 （社）日本損害保険協会より高規格救急車の寄贈を受ける。
- 4. 22 緊急消防援助隊旗の伝達を受ける。
- 12. 13 指令車購入
- 12. 20 菰野町職員定数条例（消防職員）改正（定数40名）

平成9年(1997)

- 4. 1 菰野町防災行政無線による広報を開始
- 5. 15 救急救命士が誕生

平成10年(1998)

- 2. 4 ポンプ車（CD－Ⅰ型）購入
- 4. 1 救急救命士業務運用開始
- 10. 15 携帯電話による119番通報受信業務を開始
- 11. 24 積載車購入

平成11年(1999)

- 1. 21 広報車購入
- 6. 2 救急救命士24時間体制開始
- 7. 27 消防救助技術東海地区指導会陸上の部（ロープブリッジ渡過）にて入賞する。
- 8. 19 全国消防救助技術大会陸上の部（ロープブリッジ渡過）に出場する。

平成12年(2000)

- 4. 14 三重県消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得する。
- 4. 20 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得する。

平成13年(2001)

- 3. 7 高規格救急車購入
- 3. 10 新通信指令室の運用を開始

平成14年(2002)

- 4. 1 消防吏員服制規則改正

平成15年(2003)

- 8. 27 全国優良消防職員表彰を受賞する。
- 12. 6 救急医療功労者知事表彰を受賞する。

平成16年(2004)

- 4. 1 三重県防災航空隊へ職員1名を派遣(3年間)
- 9. 3～4 三重県緊急消防援助隊野営訓練及び合同訓練を菰野町で実施する。

平成17年(2005)

- 8. 3 救急救命士1名が気管内挿管講習及び実習修了
- 8. 8 携帯119番直接受信開始
- 10. 1 三重県内消防相互応援協定に基づく境界付近の応援に関する覚書を締結

平成18年(2006)

- 2. 22 高規格救急車購入
- 4. 1 緊急消防援助隊登録
- 7. 13 救急救命士1名が薬剤投与追加講習及び実習修了

平成19年(2007)

- 1. 30 水槽付ポンプ車（水－ⅠA型）購入
- 7. 25 消防救助技術東海地区指導会陸上の部（ロープブリッジ渡過）にて入賞する。
- 8. 22 全国消防救助技術大会陸上の部（ロープブリッジ渡過）にて入賞する。

平成20年(2008)

- 3. 9 救急救命士3名が薬剤投与追加講習及び実習修了
- 3. 14 救助工作車（Ⅱ型）購入
- 4. 11 三重県消防職員意見発表会にて最優秀賞を獲得する。
- 4. 17 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得する。
- 8. 28 全国優良消防職員表彰を受賞する。
- 12. 12 査察車購入

平成21年(2009)

- 4. 1 三重県消防学校教官として職員1名を派遣(3年間)
- 6. 25 救急救命士1名が薬剤投与追加講習及び実習修了
- 8. 1 Eメール119番通報運用開始
- 11. 30 耐震性貯水槽第1号完成

平成22年(2010)

- 4. 9 三重県消防職員意見発表会にて最優秀賞を獲得する。
- 4. 16 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得する。
- 12. 2 高規格救急車購入

平成23年(2011)

- 4. 27 火災時における消防活動業務の協力に関する協定を締結する。

平成24年(2012)

- 4. 1 菰野町職員定数条例（消防職員）改正（定数46名）
- 4. 1 三重県消防学校教官として職員1名を派遣(3年間)
- 4. 13 三重県消防職員意見発表会にて最優秀賞を獲得する。
- 4. 20 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得する。
- 8. 1 位置情報通知システム（統合型）導入
- 12. 27 広報車購入

平成25年(2013)

- 8. 21 全国優良消防職員表彰を受賞する。
- 11. 18 救急医療功労者知事表彰を受賞する。

平成26年(2014)

- 3. 24 はしご車（先端屈折式 30m級）購入
- 12. 5 ポンプ車（CD－Ⅰ型CAFS付）購入

平成27年(2015)

- 1. 31 資機材搬送車購入
- 4. 1 救命サポート事業開始
- 4. 1 菰野町職員定数条例（消防職員）改正（定数58名）
- 8. 26 消防支援隊発足（35名）
- 11. 26 高規格救急車購入

平成28年(2016)

- 4. 1 三重北消防指令センター運用開始
- 4. 1 三重県防災航空隊へ職員1名を派遣(3年間)
- 7. 26 消防救助技術東海地区指導会陸上の部（ロープブリッジ渡過）にて入賞する。
- 8. 24 全国消防救助技術大会陸上の部（ロープブリッジ渡過）にて入賞する。

平成29年(2017)

- 3. 8 消防庁長官表彰永年勤続功労章を受章する。
- 11. 28 高規格救急車購入

平成30年(2018)

- 3. 7 消防庁長官表彰功労章を受章する。
- 6. 1 三重北消防指令センターにて多言語三者間同時通訳システム運用開始

令和元年(2019)

- 1. 31 三重県内高速道路等における消防相互応援協定を締結
- 8. 24 全国優良消防職員表彰を受賞する。
- 10. 1 三重北消防指令センターにてNet119緊急通報システム運用開始

令和2年(2020)

- 2. 28 小型動力ポンプ付水槽車（Ⅰ型）購入
- 3. 4 消防功労者消防庁長官表彰において竿頭綬を受章する。
- 3. 15 消防庁長官表彰永年勤続功労章を受章する。

令和3年(2021)

- 3. 10 消防庁長官表彰永年勤続功労章を受章する。
- 5. 19 患者等搬送事業認定制度開始
- 7. 20 三重北消防指令センターにて119番映像通報システム運用開始

令和4年(2022)

- 1. 11 水槽付ポンプ車（Ⅱ型）購入
- 3. 2 消防庁長官表彰永年勤続功労章を受章する。
- 7. 30 消防救助技術東海地区指導会陸上の部（ロープブリッジ渡過）にて入賞する。
- 8. 26 全国消防救助技術大会陸上の部（ロープブリッジ渡過）にて入賞する。

令和5年(2023)

- 3. 10 消防庁長官表彰永年勤続功労章を受章する。
- 4. 1 三重県消防学校教官として職員1名を派遣(3年間)

令和6年(2024)

- 1. 11 高規格救急車購入
- 8. 1 救急情報伝送システム運用開始

令和7年(2025)

- 2. 13 査察車購入

令和7年中の主な行事

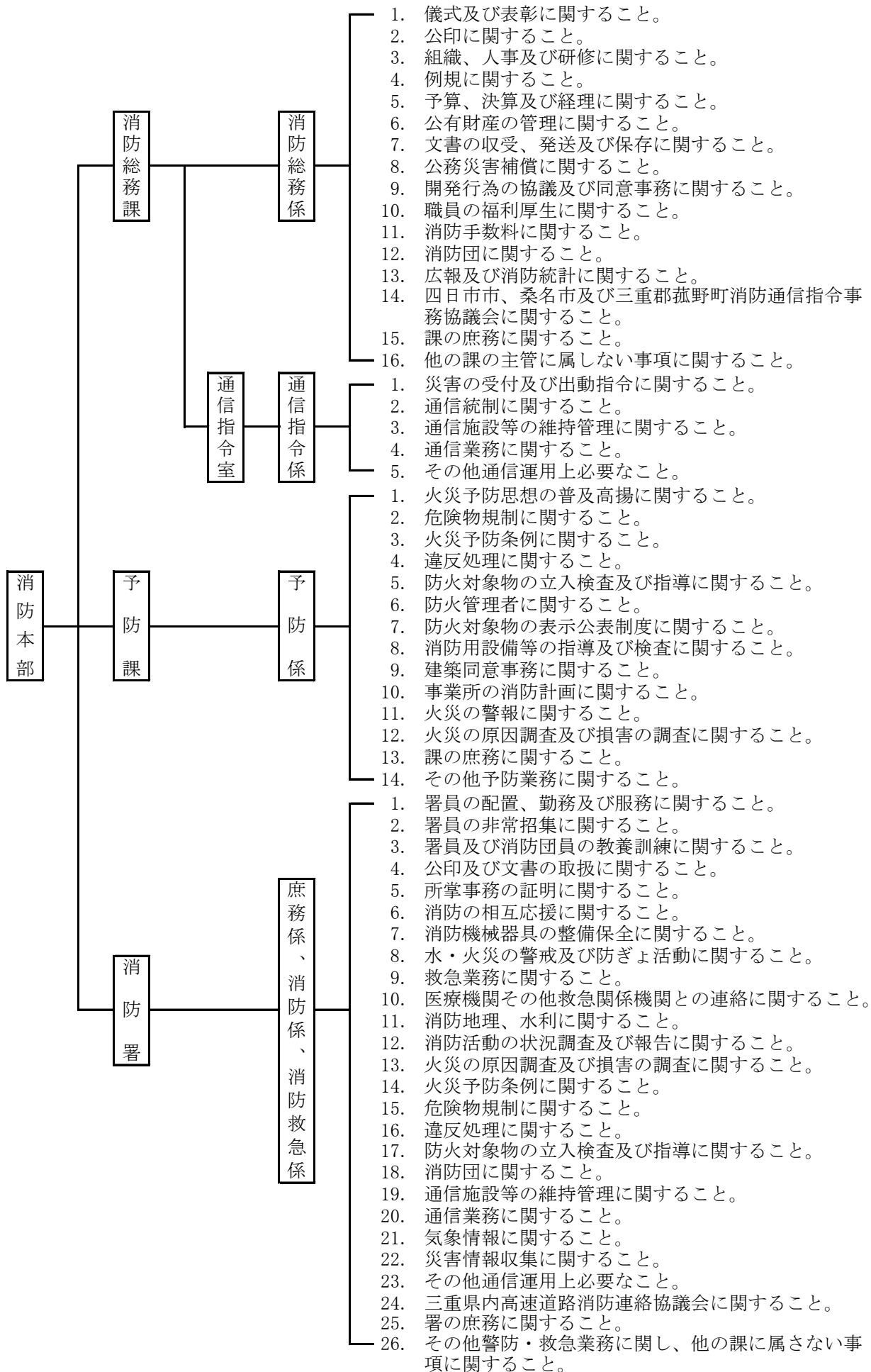
1. 12	消防出初式
1. 22	文化財防火運動に伴う特別消防訓練〔明福寺〕
2. 23	菰野町消防フェア〔イオンタウン菰野、町内一円〕
2. 27	春の火災予防運動に伴う特別消防訓練〔有料老人ホーム「あいのいろ」〕
3. 1～ 3. 7	春の火災予防運動
4. 6	消防辞令交付式〔農村環境改善センター〕
5. 18	菰野町水防訓練〔三滝川河川敷〕
5. 20	菰野町防火協会理事会総会〔千種地区コミュニティセンター〕
5. 28	危険物安全週間に伴う特別消防訓練 〔山九株式会社四日市支店北勢第3物流センター〕
6. 8～ 6. 14	危険物安全週間
6. 29	菰野町消防団夏期訓練〔菰野町庁舎北駐車場〕
7. 24	消防救助技術東海地区指導会〔三重県消防学校〕
8. 29	防災週間に伴う特別消防訓練〔湯の山温泉グリーンホテル〕
8. 30～ 9. 5	防災週間
8. 31	菰野町民総ぐるみ総合防災訓練〔町内一円〕
9. 7～ 9. 13	救急医療週間
9. 20～ 9. 21	消防自動車写生大会〔消防本部〕
10. 7	三重県消防職員警防技術交換会〔三重県消防学校〕
11. 9～11. 15	秋の火災予防運動
11. 9	秋の火災予防運動に伴う特別消防訓練 〔独立行政法人水資源機構 三重用水 菰野調整池〕
11. 26	集団救急事故対応訓練〔消防本部〕
12. 28～12. 31	年末特別警戒〔町内一円〕

歴代消防長

初代	大倉 二郎	自	昭和60年 4月 1日	至	昭和61年 3月31日
二代	田邊 正男	自	昭和61年 4月 1日	至	平成 3年 3月31日
三代	藤田 徹	自	平成 3年 4月 1日	至	平成 7年 3月31日
四代	石原 俊秀	自	平成 7年 4月 1日	至	平成11年 3月31日
五代	内田 芳隆	自	平成11年 4月 1日	至	平成13年 3月31日
六代	金津 正義	自	平成13年 4月 1日	至	平成16年 3月31日
七代	秦 隆	自	平成16年 4月 1日	至	平成18年 4月27日
八代	増田 幸生	自	平成18年 5月 1日	至	平成19年 3月31日
九代	川嶋 正典	自	平成19年 4月 1日	至	平成21年 3月31日
十代	内田 眞伸	自	平成21年 4月 1日	至	平成25年 3月31日
十一代	白木 康裕	自	平成25年 4月 1日	至	平成30年 3月31日
十二代	吉川 澄	自	平成30年 4月 1日	至	令和 3年 3月31日
十三代	山本 正春	自	令和 3年 4月 1日	至	令和 7年 3月31日
十四代	瀧見 浩志	自	令和 7年 4月 1日	至	令和 8年 3月31日
十五代	金津 貴史	自	令和 8年 4月 1日	現在に至る	

消防本部、消防署の組織、機構及び事務分掌

令和 8. 4. 1現在



消防予算(当初額)

(千円)

年度 \ 区分	常備消防費	非常備消防費	消防施設費	水 防 費	合 計
令和4年度	550,995	42,731	61,760	50	655,536
令和5年度	551,542	40,502	70,597	50	662,691
令和6年度	568,334	49,149	56,607	50	674,140
令和7年度	574,747	44,415	369,081	40	988,283
令和8年度	595,525	46,903	96,723	31	739,182

一般会計予算に占める消防費の割合(当初額)

年度 \ 区分	一般会計予算 (千円)	消防予算 (千円)	比 率(%)
令和4年度	13,300,000	655,536	4.9
令和5年度	13,660,000	662,691	4.9
令和6年度	15,280,000	674,140	4.4
令和7年度	15,990,000	988,283	6.2
令和8年度	16,843,000	739,182	4.4

消防費に対する人口、世帯当り額

年度 \ 区分	人 口 (人)	世 帯 (戸)	消防費 (千円)	人口1人当りの 消防費(千円)	1世帯当りの 消防費(千円)
令和4年度	41,390	16,964	655,536	16	39
令和5年度	41,189	17,126	662,691	16	39
令和6年度	40,931	17,281	674,140	16	39
令和7年度	40,657	17,437	988,283	24	57
令和8年度	40,363	17,477	739,182	18	42

消防力の整備指針と現有消防力の比較

(台)

車 両	消防力の整備指針による基準車両	基準数	現 有 車 両	現有数	比 較
	消 防 ポ ン プ 自 動 車	2	水槽付消防ポンプ自動車 消 防 ポ ン プ 自 動 車	2	0
	はしご付き消防自動車	1	はしご付き消 防 自 動 車	1	0
	化 学 消 防 自 動 車	1		0	△ 1
	救 急 自 動 車	3	高規格救急自動車(1) 高規格救急自動車(2) 高規格救急自動車(3)	3	0
	救 助 工 作 車	1	救 助 工 作 車	1	0
	指 揮 車	1	指 揮 車	1	0
	合 計	9	合 計	8	△ 1

(人)

人 員	消 防 力 の 整 備 指 針 に よ る 区 分 別 算 定		基準数	現有数	比 較	
	警 防 要 員	消 防 ポ ン プ 自 動 車 (1)	5人×3部制＝15人	69	42	△27
		消 防 ポ ン プ 自 動 車 (2)	4人×3部制＝12人			
		救 助 工 作 車	5人×3部制＝15人			
		救 急 自 動 車 (1)	3人×3部制＝ 9人			
		救 急 自 動 車 (2)	3人×3部制＝ 9人			
		指 揮 車	3人×3部制＝ 9人			
		救 急 自 動 車 (3)	(兼 務 運 用)			
		はしご付き消防自動車	(乗 換 運 用)			
		化学消防自動車【未配備】				
	通 信 員		3	3	0	
	予 防 要 員		5	4	△ 1	
そ の 他 の 人 員		4	9	5		
合 計		81	58	△23		

令和 8. 4. 1現在

職員階級別、所属別配置状況

令和 8. 4. 1現在

所属	階級 消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合 計
消防長、消防本部	1						1
消防本部消防総務課		3	3		1	3	10
消防本部予防課		2	2				4
消防署		2	14	6	8	12	42
町部局			1				1
合 計	1	7	20	6	9	15	58

職員階級別勤続年数状況

令和 8. 4. 1現在

勤続年数	階級 消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合 計
1年未満						3	3
1年						2	2
2年						1	1
3年						2	2
4年					1	2	3
5年						2	2
6年					2	1	3
7年							
8年					2	2	4
9年			1		1		2
10年					1		1
11年				1	1		2
12年				1			1
13年				1	1		2
14年							
15年				1			1
16年							
17年			1	1			2
18年			1				1
19年				1			1
20年			1				1
21年							
22年			2				2
23年							
24年			1				1
25年			2				2
26年			1				1
27年			2				2
28年		1	1				2
29年		1	2				3
30年							
31年							
32年		3	2				5
33年			1				1
34年		1					1
35年							
36年		1					1
37年							
38年	1		1				2
39年							
40年以上			1				1
合 計	1	7	20	6	9	15	58

職員階級別年齢状況

令和 8. 4. 1現在

年齢 \ 階級	消 防 司令長	消防司令	消 防 司令補	消防士長	消 防 副士長	消防士	合 計
18歳						1	1
19歳							
20歳						1	1
21歳						1	1
22歳						2	2
23歳						3	3
24歳						3	3
25歳						1	1
26歳						1	1
27歳						2	2
28歳					3		3
29歳					1		1
30歳					3		3
31歳					2		2
32歳							
33歳							
34歳				2			2
35歳				1			1
36歳				1			1
37歳				2			2
38歳							
39歳			2				2
40歳			2				2
41歳			1				1
42歳							
43歳			1				1
44歳			2				2
45歳			1				1
46歳							
47歳			1				1
48歳			1				1
49歳			1				1
50歳			3				3
51歳			2				2
52歳		1					1
53歳		2					2
54歳		2					2
55歳							
56歳	1	1					2
57歳		1					1
58歳							
59歳							
60歳							
61歳			3				3
62歳							
63歳							
合 計	1	7	20	6	9	15	58

平均年齢 38.2 歳

消防本部(署)庁舎の概要

令和 8. 4. 1現在

所在地	三重県三重郡菰野町大字潤田4418番地 (敷地面積:5,039.21㎡)					
区分	庁舎	仮設庁舎	訓練棟			車庫棟
	消防署	消防本部	主塔	副塔	倉庫棟	車庫棟
建設年	昭和60年竣工	平成26年竣工	平成7年竣工	平成7年竣工	平成7年竣工	令和2年竣工
構造	RC2階建	鉄骨2階建	RC4階建	鉄骨3階建	鉄骨2階建	鉄骨平屋建
建築面積	537.7㎡	114.4㎡	39.4㎡	38.6㎡	87.6㎡	53.4㎡
延床面積	858.4㎡	226.8㎡	129.6㎡	94.3㎡	175.2㎡	53.4㎡
1 F	528.1㎡	113.4㎡	32.4㎡	32.7㎡	87.6㎡	53.4㎡
2 F	309.3㎡	113.4㎡	32.4㎡	32.7㎡	87.6㎡	
3 F	(P.H) 21.0㎡		32.4㎡	28.9㎡		
4 F			32.4㎡			

現有消防車両

令和 8. 4. 1現在

車種 \ 区分	車名	規格等	登録番号	登録年月日	排気量 (cc)	車両総重量 (kg)	免許区分
はしご車	日野	30m級	三重800は1877	H26. 3. 19	8,860	19,120	大型
救助工作車	日野	Ⅱ型	三重800は1347	H20. 3. 13	7,680	12,000	大型
水槽付ポンプ車	日野	水-Ⅱ型 (災害対応)	三重830す2201	R 4. 1. 7	5,120	11,700	大型
小型動力ポンプ付水槽車	日野	Ⅰ型	三重830と2002	R 2. 2. 27	5,120	12,655	大型
ポンプ車	日野	CD-Ⅰ型 (CAFS付)	三重800せ 6	H26. 12. 4	4,000	6,755	準中型
救急1号車	日産	高規格 (災害対応)	三重830す2402	R 6. 2. 26	2,480	3,305	普通
救急2号車	日産	高規格	三重830す1711	H29. 11. 17	3,490	3,385	普通
救急3号車	日産	高規格	三重830せ1511	H27. 11. 17	3,490	3,395	普通
査察車	日産	ワゴン	三重800せ6102	R 7. 2. 13	1,590	2,190	普通
広報車	トヨタ	ワゴン	三重800す8616	H24. 12. 27	2,690	2,670	普通
資機材搬送車	いすゞ	2t 積	三重800せ 127	H27. 1. 29	2,990	4,905	準中型
救急予備車	日産	高規格	三重800す7167	H22. 12. 2	3,490	3,235	普通

通信施設状況

令和 8. 4. 1現在

	種 類	数量	備 考
菰野町消防本部、消防署	車 載 移 動 無 線 局 (デ ジ タ ル)	12局	菰野波1～2、四日市波1～4、桑名波1～3、統制波1～3 主運用波7、消防団波 ※広域応援用：主運用波1～6
	携 帯 移 動 無 線 局 (デ ジ タ ル)	16局	菰野波1～2、四日市波1～4、桑名波1～3、統制波1～3 主運用波7、消防団波 ※広域応援用：主運用波1～6
	消 防 団 車 載 移 動 無 線 局 (デ ジ タ ル)	11局	菰野波2、消防団波
	消 防 団 携 帯 移 動 無 線 局 (デ ジ タ ル)	11局	菰野波2、消防団波
	半 固 定 無 線 局 (デ ジ タ ル)	4局	こもの200【卓上型】 こもの201【可搬型】 こもの202【卓上型】 こもの203【卓上型】 役場災害対策室設置 菰野波1～2、四日市波1～4、桑名波1～3、統制波1～3 主運用波7、消防団波 ※広域応援用：主運用波1～6
	消防救急デジタル無線基地局 (活 動 波)	1局	活動波：みえきたしれいこもの（菰野波1～2） 【通信所】こものしょうぼう
	三重県消防救急デジタル無線基地局 共 通 波 (菰 野 中 継 所)	1局	みえきょうつうこもの（主運用波、統制波1～3） 【通信所】こものしょうぼう
	三 重 県 防 災 行 政 無 線 局	2局	衛星局、地上局
	携 帯 移 動 無 線 局 (署 活 動 用 携 帯 型)	36局	こもの310～339、341～343、こもの300～302 署活1～3
	デ ジ タ ル 簡 易 無 線 局 (携 帯 型)	15台	
	車 両 運 用 端 末 装 置 III 型 (A V M)	11台	LTE回線（デジタル無線連携）
	職員招集メール発信システム	1式	
	菰野町行政情報メール発信システム	1式	
	指 令 セ ン タ ー 用 内 線 電 話 機	1回線	三重北消防指令センター連絡用
	駆 付 け 通 報 装 置	1回線	三重北消防指令センターへ直接通報用（玄関前に設置）
	一 般 加 入 電 話	2回線 4ch	
	F A X	1回線 2ch	一般用、福祉用
	救 急 情 報 伝 送 シ ス テ ム	3台	
	救 急 車 積 載 携 帯 電 話	3台	
三重北消防指令センター	携 帯 電 話	3台	本部1、署1、指令センター連絡用1
	ド ロ ー ン 通 信 用 資 機 材	1台	
	I P 無 線 機	3台	
	電 子 黒 板	1式	三重北消防指令センターと情報共有可能
	報 知 電 話 (1 1 9)	14ch	固定電話、携帯電話、IP電話
	F A X 1 1 9	1台	
	N e t 1 1 9	2台	
	119 番 映 像 通 報 シ ス テ ム	1式	
	順 次 指 令 装 置	12ch	指令台連動
	消 防 テ レ フ ォ ン ガ イ ド	3ch	指令台連動 NTTひかりにより同時に3回線受信可能
	指 令 メ ー ル	1式	指令台連動 火災指令メール
	多 言 語 三 者 間 同 時 通 訊 シ ス テ ム	1回線	通訳センターを介した多言語三者間同時通訳
	ケ ー ブ ル テ レ ビ 消 防 情 報	1ch	指令台連動 CTY

※三重北消防指令センターは菰野町消防本部、四日市市消防本部及び桑名市消防本部が消防通信指令事務を共同運用しています。

消防水利状況

令和 8. 4. 1現在

水 利		地 区	菰 野	鵜川原	竹 永	朝 上	千 種	合 計
消 火 栓	管 径 50 mm 以 下		5		1		2	8
	管 径 75 mm		172	82	102	124	114	594
	管 径 100 mm		151	44	38	113	75	421
	管 径 150 mm 以 上		160	63	37	85	82	427
	合 計		488	189	178	322	273	1, 450
防 火 水 槽	容 量 20 m ³ 未 満		3		3	7	2	15
	容 量 20 m ³ 以 上 40 m ³ 未 満		22	3	7	12	4	48
	容 量 40 m ³ 以 上		4	1	1	3	8	17
	耐 震 性 貯 水 槽 40 m ³		7	1	1	2	2	13
	耐 震 性 貯 水 槽 100 m ³		1	1	1	1	1	5
	プ ー ル		4	1	1	2	1	9
	合 計		41	7	14	27	18	107
自 然 水 利	河 川		51	17	13	74	63	218
	池		8	2	3	17	10	40
	合 計		59	19	16	91	73	258

各種研修実施状況

令和7年度

内 容	区 分	延 時 間	延 人 数	回 数
訓 育		1	12	1
法 学 一 般		4	2	1
地 理 及 び 水 利		373	352	124
火 災 予 防		162	281	82
勤 務 要 綱		112	210	63
消 防 行 動		10	28	4
消 防 戦 術		116	131	40
消 防 機 械		304	971	237
実 施 訓 練		961	2, 462	413
訓 練 礼 式		9	160	10
救 急 学		1, 797	1, 126	426
体 育		83	3, 349	365

外部研修等派遣状況

令和7年度

派遣	区分	科 目	期 間	人員
救急救命士研修所		救急救命士新規養成研修（東京研修所第69期）	R7. 9. 8～R8. 3. 9	1
消 防 大 学 校		救助科（第91期）	R7. 8. 27～R7. 10. 7	1
消 防 学 校		初任科（第62期）救急科 救急課程（第28期）	R7. 4. 7～R7. 12. 2	1
		特別科 指導救命士課程（第6期）	R7. 6. 2～R7. 6. 13	1
		救助科 救助課程（第35期）	R7. 9. 2～R7. 10. 3	1
		火災調査科 火災調査課程（第21期）	R7. 12. 8～R7. 12. 19	1
		特殊災害科 特殊災害課程（第11期）	R8. 1. 15～R8. 1. 23	1
		警防科 警防課程（第37期）	R8. 1. 26～R8. 2. 6	1
		中級幹部科（第32期）	R8. 2. 12～R8. 2. 20	1
		特別科 救急救命士ブラッシュアップ講習（第8期）	R8. 2. 17～R8. 2. 19	2
警 防		伐木等の業務に係る特別教育講習会	R7. 7. 2～R7. 7. 4	1
		酸素欠乏、硫化水素危険作業主任者技能講習	R7. 11. 19～R7. 11. 21	1
救 急		JPTECプロバイダーコース（外傷病院前救護研修）	R7. 8. 23、R7. 12. 13	3
		JPTEC更新コース（外傷病院前救護研修）	R7. 8. 23、R7. 12. 13	3
		MIELS（メディカルラリー）	R7. 10. 4	1
		救急コ・メディカルセミナー	R7. 10. 24	1
		MCLSコース（多数傷病者対応研修）	R7. 7. 12、R8. 1. 18	2
		PCECコース（意識障害病院前救護研修）	R7. 11. 7	2
		PEMECコース（救急隊員による疾病の観察処置の標準化）	R7. 11. 12	1
		新生児蘇生法講習会 P コース・病院前コース	R7. 11. 22	1
		全国救急隊員シンポジウム	R8. 1. 22～R8. 1. 23	1
救 助		全国山岳遭難対策協議会	R7. 7. 11	1
		SRT-1「スイフトウォーターレスキューテクニシャン」	R7. 5. 13～R7. 5. 15	1
		全国消防救助シンポジウム	R7. 12. 11	1
予 防		調査技術会議	R7. 6. 19	1
		予防技術講習会	R7. 7. 11	1
		違反是正研修会	R7. 8. 20	2
		火災調査研究発表会	R7. 10. 16	2
通 信 指 令		三重県通信指令員救急教育	R7. 5. 20～R7. 5. 21	1
		第8回通信指令シンポジウム	R8. 3. 14	1
そ の 他		大型自動車第一種運転免許取得	R7. 4. 23～R7. 8. 26	2
		無人航空機操縦者技能証明書取得	R7. 10. 31	1

応急手当普及啓発活動実施状況

菰野町消防本部では平成7年度から応急手当の普及啓発活動実施要綱に基づく普及活動を実施しており、止血法や固定法などを学ぶ救急講習、心肺蘇生法とAEDの取り扱い方法を学ぶ普通救命講習、各区や事業所などで普通救命講習を開催できる指導者を養成する応急手当普及員講習などを開催しています。

令和2年度～4年度は新型コロナウイルス感染症の影響により実施回数が減少となっています。

区分 年度	救 急 講 習		普 通 救 命 講 習		応急手当普及員講習	
	回 数	受講者数	回 数	修了者数	回 数	修了者数
平 成 7 年 度	10	351	5	93		
平 成 8 年 度	16	330	7	78		
平 成 9 年 度	18	384	10	130		
平 成 10 年 度	12	310	8	90		
平 成 11 年 度	14	942	8	142		
平 成 12 年 度	14	382	11	206		
平 成 13 年 度	9	257	13	151		
平 成 14 年 度	9	396	24	408		
平 成 15 年 度	14	592	13	197		
平 成 16 年 度	17	828	16	263		
平 成 17 年 度	9	1,094	33	480	1	12
平 成 18 年 度	15	734	59	840	5	60
平 成 19 年 度	16	461	60	989	3	57
平 成 20 年 度	4	226	71	1,013	4	72
平 成 21 年 度	11	262	44	592	3	45
平 成 22 年 度	7	302	35	512	2	38
平 成 23 年 度	9	319	45	699		
平 成 24 年 度	11	468	39	628	2	26
平 成 25 年 度	6	276	37	571	1	29
平 成 26 年 度	17	459	45	564	3	28
平 成 27 年 度	21	526	47	636	3	42
平 成 28 年 度	12	427	42	555	3	19
平 成 29 年 度	17	671	45	577	3	17
平 成 30 年 度	8	172	40	541	3	22
令 和 元 年 度	16	249	37	480	2	11
令 和 2 年 度	3	37	12	66	6	26
令 和 3 年 度	1	20	21	74	2	3
令 和 4 年 度	12	270	24	178	2	2
令 和 5 年 度	24	464	28	237	1	3
令 和 6 年 度	25	869	37	401	2	14
令 和 7 年 度	29	642	35	329	2	22
合 計	406	13,720	951	12,720	53	548

自主防災組織

令和 8. 4. 1現在

(1) 婦 人 消 防 隊	菰野地区婦人消防隊 (昭和43年4月21日結成	363 人)
	鵜川原地区婦人消防隊 (昭和40年3月20日結成	72 人)
	竹永地区婦人消防隊 (昭和58年6月 1日結成	73 人)
	朝上地区婦人消防隊 (昭和42年4月 1日結成	110 人)
	千種地区婦人消防隊 (昭和57年4月21日結成	114 人)
合計 5 隊 総員 732 人		

(2) 自 警 団

合計 32 団 総員 669 人

菰 野 地 区	神 野 明 区 (14 人)
	菰 野 第 一 区 (37 人)
	菰 野 第 三 区 (141 人)
	宿 野 区 (17 人)
	福 村 区 (10 人)
	神 森 区 (14 人)
計 6 団 総員 233 人	

鵜 川 原 地 区	大 強 原 区 (14 人)
	下 村 区 (15 人)
	川 北 区 (15 人)
	池 底 区 (2 人)
	吉 沢 区 (10 人)
	諏 訪 区 (9 人)
計 6 団 総員 65 人	

竹 永 地 区	永 井 区 (38 人)
計 1 団 総員 38 人	

朝 上 地 区	杉 谷 区 (17 人)
	榊 区 (13 人)
	松 涛 園 区 (13 人)
	小 島 区 (15 人)
	田 口 新 田 区 (19 人)
	美 山 区 (40 人)
	田 口 区 (9 人)
	日 丘 区 (22 人)
	切 畑 区 (5 人)
	一 本 木 団 地 (6 人)
	青 葉 台 区 (8 人)
計 11 団 総員 167 人	

千 種 地 区	千 草 区 (19 人)
	音 羽 区 (10 人)
	潤 田 区 (34 人)
	三 滝 園 区 (39 人)
	岡 区 (9 人)
	福 松 区 (10 人)
	奥 郷 区 (10 人)
	江 野 区 (35 人)
計 8 団 総員 166 人	

緊急避難所

令和 8. 4. 1現在

区 名	名 称	所 在 地	電話番号	収容人数
神 明	グリーンホテル	大字千草7054-173	059-392-3111	40
	神明区公所	大字菰野8475-22		32
大 羽 根 園	大羽根園自治会公所	大羽根園並木通4	059-394-1884	62
菰 野 第 一 区	菰野第一区第一公所	大字菰野9007	059-393-2116	29
菰 野 第 二 区	菰野第二区公民館	大字菰野2203-1	059-394-0940	80
菰 野 第 三 区	南部公民館	大字福村148		128
	第三区民栄会館	大字菰野1419-8	059-394-0986	50
	川原町集会所	大字菰野1778		18
宿 野	宿野公所	大字宿野230-1	059-394-0913	65
福 村	福村公所	大字福村272	059-394-2744	56
神 森	神森集落センター	大字神森705	059-394-1984	33
大 強 原	大強原公所	大字大強原3482-1	059-394-6237	47
下 村	下村公所	大字下村2166-3		48
川 北	川北公所	大字川北563	059-393-2074	81
池 底	池底集落センター	大字池底1152	059-394-1127	41
吉 沢	吉沢集落センター	大字吉沢1792-2		44
諏 訪	諏訪公所	大字諏訪3822	059-394-2904	63
竹 成	竹成区公所	大字竹成2116	059-396-1880	78
永 井	永井集落センター	大字永井3832	059-396-1707	34
田 光	田光公所	大字田光2066	059-396-0127	90
杉 谷	杉谷公所	大字杉谷776-1	059-396-2319	66
榊	榊公所	大字榊303		16
松 涛 園	松涛園公所	大字小島417-185		36
小 島	小島集落センター	大字小島1687-1		33
田 口 新 田	田口新田公所	大字田口新田2256		42
美 山	美山区公所	大字田口新田232-32		13
田 口	田口公所	大字田口2495		56
日 丘	日丘区公所	大字田口新田117-66		16
切 畑	切畑公所	大字切畑720		13
根 の 平	根の平公所	大字根の平114-1		10
一 本 木 団 地	一本木公所	大字榊895-44		24

令和 8. 4. 1現在

区 名	名 称	所 在 地	電話番号	収容人数
青 葉 台	青葉台公会所	大字杉谷1572-187		39
	(株)マキテック三重工場	大字千草4633-9		87
千 草	千草公会所	大字千草2763		50
	千草区区民センター	大字千草2510		26
音 羽	音羽公会所	大字音羽585-1		31
潤 田	潤田集落研修センター	大字潤田499	059-394-1430	79
三 滝 園	三滝園公会所	大字潤田650-177		26
岡	岡公民館	大字千草4127-10	059-393-4193	56
福 松	福松構造改善センター	大字千草5364-16	059-394-5194	42
奥 郷	奥郷構造改善センター	大字千草6368-2	059-394-3773	43
江 野	江野区公会所	大字千草7045-897	059-392-2105	37

収容人員＝有効スペース3㎡×1人

風水害時における緊急避難所を補完する施設

令和 8. 4. 1現在

地 区 名	名 称	所 在 地	電話番号	収容人数
菰 野 地 区	菰野地区 コミュニティセンター	大字菰野1418	059-394-5333	21
朝 上 地 区	朝上地区 コミュニティセンター	大字田光4291	059-396-0001	22
千 種 地 区	千種地区 コミュニティセンター	大字千草3851	059-393-2052	18

収容人員＝有効スペース(和室) 3㎡×1人

※緊急避難所を補完する施設とは、緊急避難所で受け入れ出来ない避難者及びキャンプ場宿泊者等を受け入れる場合に利用する。

収容避難所

令和 8. 4. 1現在

地 区 名	名 称	所 在 地	電話番号	収容人数
菰 野 地 区	菰野町B&G海洋センター	大字菰野4775-1	059-394-3177	381
	菰野小学校	大字菰野1490	059-393-2006	288
	菰野中学校	大字菰野1192	059-393-2122	357
	菰野高等学校	大字福村870	059-393-1131	382
鵜 川 原 地 区	鵜川原小学校	大字大強原913	059-393-2118	183
竹 永 地 区	竹永小学校	大字竹成2593-5	059-396-0009	198
朝 上 地 区	朝上小学校	大字田光66	059-396-0004	294
	八風中学校	大字田光3808-18	059-396-0012	338
千 種 地 区	千種小学校	大字千草3861	059-394-2590	333

収容人員＝体育館等3㎡×1人

収容避難所を補完する施設

令和 8. 4. 1現在

地 区 名	名 称	所 在 地	電話番号	収容人数
菰 野 地 区	菰野こども園	大字菰野2098	059-393-2135	27
	菰野西こども園	大字菰野8870	059-394-0884	54
	菰野東こども園	大字菰野1485	059-393-1179	78
鶺 川 原 地 区	鶺川原こども園	大字大強原829-1	059-393-2405	38
竹 永 地 区	竹永幼稚園 竹永保育園	大字永井59	059-396-0527	56
朝 上 地 区	朝上こども園	大字田光3306-2	059-396-0114	44
	北部子ども子育て支援拠点施設	大字田光4293	059-396-0707	41
千 種 地 区	千種幼稚園 千種保育園	大字音羽2240	059-393-2406	58

※収容避難所を補完する施設とは、収容避難所の収容能力を超える被災者を受け入れる場合に利用する、隣接の保育園、幼稚園、こども園等である。

消防団



消防団は、地域防災の中核として火災をはじめ各種災害時に重要な役割を担っています。消防団員の献身的な活動と地域に根差した協力体制により、町民の安全が支えられています。今後も訓練等を通じ消防団との連携を強化し、地域防災力の向上に努めていきます。

危険物安全週間特別消防訓練

令和 7 年 5 月 28 日

於：山九株式会社四日市支店

北勢第 3 物流センター

消防団

消防団は郷土愛の精神に基づき、地域に密着した防災活動機関として地震、風水害、火災等の災害時には町民の生命財産の保護等消防防災活動に当たるとともに、平時には火災予防広報、防災指導等に従事し地域防災上重要な役割を果たしています。

令和7年中における主な活動として、火災件数8件のうち、6件の火災に消防団が出動し、延べ出動人員153人が活動しました。

その他にも、出初式や各種訓練、警戒、警備などに出動し地域の安全のため活躍しています。

菰野町消防団の沿革

明治27年	消防制度が統一され、当時の菰野村、鶴川原村、竹永村、朝上村、千種村の5村に消防組が組織される。
昭和 3年	町制施行により菰野村が菰野町となる。
昭和14年	警察消防体制の確立により5町村の消防組が警防団に改められる。
昭和23年	消防組織法の施行により5町村の警防団が消防団として組織される。
昭和30年 4月	町村合併促進法の制定により朝上村と千種村が合併し、朝明村となり朝明村消防団が組織される。
昭和31年 9月	菰野町と鶴川原村、竹永村が合併し菰野町となり、菰野町消防団、朝明村消防団の2団となる。
昭和32年 1月	菰野町と朝明村が合併し菰野町となり、同時に菰野町消防団（団員数 159名）に統一、菰野分団、鶴川原分団、竹永分団、朝上分団、千種分団の5分団で組織される。
昭和41年 7月	湯の山地区自警団が湯の山分団となり、全6分団となる。
昭和43年 1月	菰野町役場に本部班が設置される。
昭和58年 4月	本部班が本部分団となり、全7分団となる。
昭和58年 7月	三重県消防操法大会に本部分団が出場し、優勝する。
昭和59年 7月	三重県消防操法大会に朝上分団が出場し、優勝する。
平成 2年10月	全国消防操法大会に朝上分団が出場し、優良賞を獲得する。
平成 6年10月	全国消防操法大会に菰野分団が出場し、敢闘賞を獲得する。
平成 9年 2月	第49回日本消防協会定例表彰式において特別表彰「まとい」を受章する。
平成 9年 8月	三重県消防操法大会に鶴川原分団が出場し、敢闘賞を獲得する。
平成18年 7月	三重県消防操法大会に竹永分団が出場し、準優勝する。
平成26年11月	全国消防操法大会に朝上分団が出場し、敢闘賞を獲得する。
令和 2年 3月	消防功労者消防庁長官表彰において竿頭綬を受章する。
令和 6年 7月	三重県消防操法大会に千種分団が出場し、第3位入賞する。

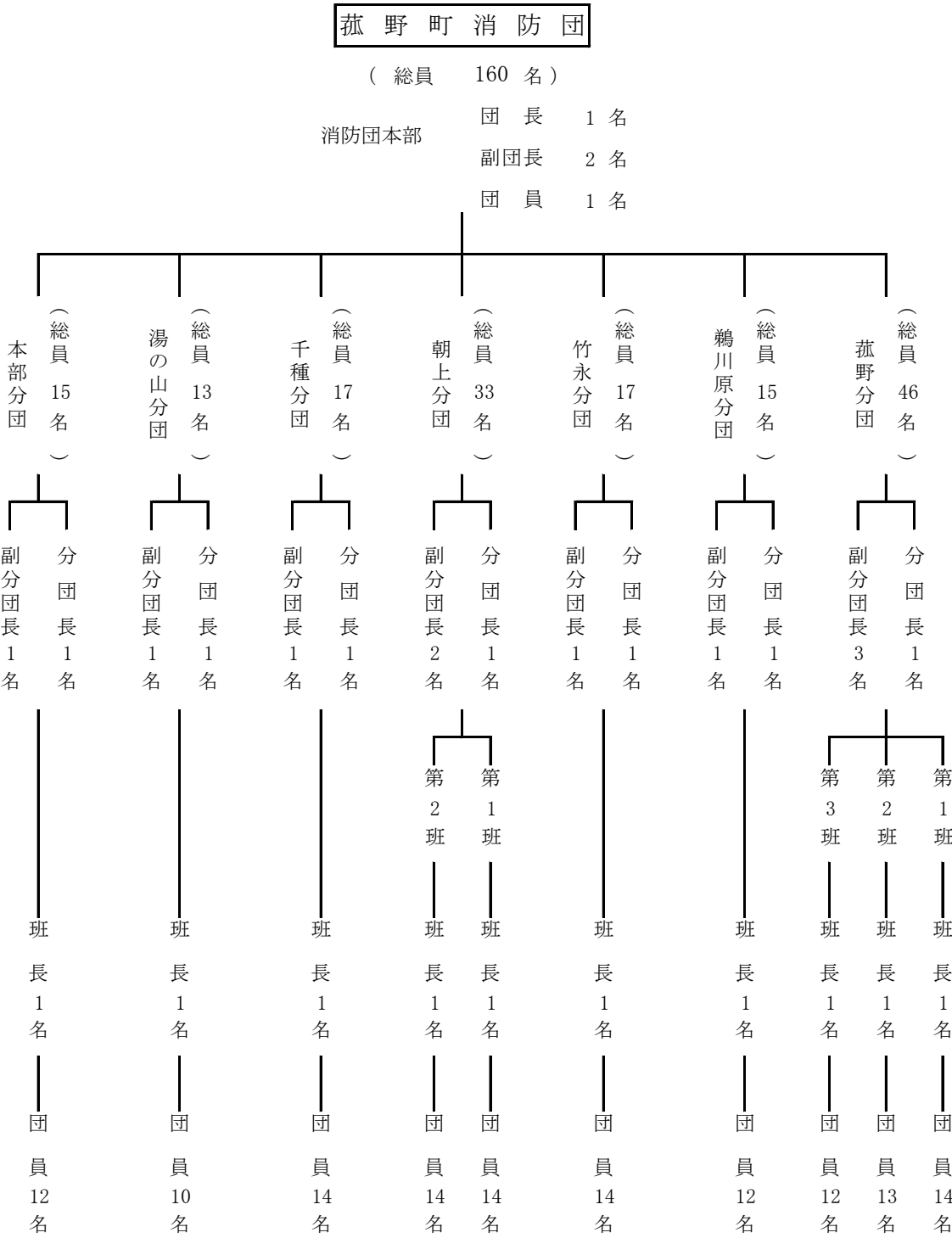
歴代消防団長(合併以降)

初代 服部 幸太郎	自 昭和32年 1月15日	至 昭和52年 4月 1日
二代 伊藤 正一	自 昭和52年 6月15日	至 昭和55年12月31日
三代 谷 善一	自 昭和56年 1月 1日	至 昭和58年12月31日
四代 辻 収	自 昭和59年 1月 1日	至 平成 7年 2月28日
五代 白木 一	自 平成 7年 3月 1日	至 平成17年 3月31日
六代 小林 幸治	自 平成17年 4月 1日	至 平成29年 3月31日
七代 増田 富雄	自 平成29年 4月 1日	至 平成29年11月21日
八代 服部 卓美	自 平成30年 1月 1日	現在に至る

消防団の機構、団員数

令和 8. 4. 1現在

菰野町消防団 分団数 7分団（10班）
団員定数 168名
現有団員数 160名



年齢別、階級別消防団員数

令和 8. 4. 1現在

年齢 \ 階級	団 長	副団長	分団長	副分団長	班 長	団 員	合 計
18歳～20歳						2	2
21歳～25歳						13	13
26歳～30歳						23	23
31歳～35歳				1	3	38	42
36歳～40歳			2	5	4	27	38
41歳～45歳			3	1	1	22	27
46歳～50歳			1	3	2	3	9
51歳～55歳			1				1
56歳～60歳		1				1	2
61歳～65歳		1				1	2
66歳以上	1						1
合 計	1	2	7	10	10	130	160

平均年齢 35.8 歳

在職年数別消防団員数

令和 8. 4. 1現在

在職年数	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上 35年未満	35年以上	合 計
団 員 数	38	39	39	28	8	3	2	3	160

消防団員報酬

令和 8. 4. 1現在

階 級	団 長	副団長	分団長	副分団長	班 長	団 員
年 間 報 酬 額 (円)	186,000	128,000	105,000	87,000	76,000	70,000

消防団員出動報酬

令和 8. 4. 1現在

項 目	災害出動	訓練	警戒	ポンプ点検	車両検査	立入検査	研修、会議 (町外で実施)
1 日 当 り の 報 酬 額 (円)	8,000	2,000	1,000	700	700	5,000	1,500 (3,000)

※災害出動については活動時間が4時間未満の場合は2分の1の額とする。

消防団員職業別構成数

令和 8. 4. 1現在

職 業	自営業	会社員	公務員	その他 (役員等)	合計
人 数	17	95	40	8	160

消防団消防車両配置状況

令和 8. 4. 1現在

区分 分団名	車 名	規格等	登 録 番 号	登録年月日	排気量 (cc)	車両総重量 (kg)	免 許 区 分
菰野分団第1班	いすゞ	CD-I	三重800す 715	H17. 2. 9	4, 770	4, 460	準中型
菰野分団第2班	いすゞ	CD-I	三重800す7276	H23. 2. 14	2, 990	4, 730	準中型
菰野分団第3班	いすゞ	CD-I	三重800さ9007	H15. 12. 15	4, 770	4, 320	準中型
鵜 川 原 分 団	いすゞ	CD-I	三重800す5567	H21. 2. 3	2, 990	4, 620	準中型
竹 永 分 団	日野	CD-I	三重830さ4047	R 4. 2. 10	4, 000	4, 750	準中型
朝上分団第1班	いすゞ	CD-I	三重800す4668	H20. 2. 6	2, 990	4, 440	準中型
朝上分団第2班	いすゞ	CD-I	三重830す2506	R 7. 6. 25	2, 990	4, 980	準中型
千 種 分 団	いすゞ	CD-I	三重830さ2410	R 6. 10. 7	2, 990	4, 990	準中型
湯 の 山 分 団	いすゞ	CD-I	三重830な1212	R 5. 3. 13	2, 990	4, 950	準中型
本 部 分 団	いすゞ	CD-I	三重830せ1702	H29. 2. 22	2, 990	4, 900	準中型
団 本 部	日産	付積	三重800せ 280	H27. 3. 26	2, 480	3, 220	普通
	トヨタ	付積	三重830な2002	R 2. 2. 21	2, 980	3, 160	普通
	日産	ワゴン	三重502ふ2380	H26. 11. 27	1, 590	1, 735	普通

※付積＝小型動力ポンプ付積載車

予 防



火災予防は、町民の命や財産を守るうえで非常に重要です。消防本部と消防団が一体となり、菰野町民の皆様に火災予防への理解と関心を深めていただけるよう、防火広報や各種イベントを実施し、防災意識の向上を目指しています。

菰野町防火広報及び消防フェア

令和7年2月23日

於：イオンタウン菰野、町内一円

予 防

消防の業務で火災等の災害を未然に防止することも重要な仕事のひとつです。一般家庭に対しては、行事、講習会等を通じ防火意識の普及高揚を図り、事業所に対しては危険物の取扱い、消防用設備等の設置、維持、管理等について指導を行っています。

防火対象物現況

用 途			令和8. 4. 1現在			令和7. 4. 1現在		
			4階未満	4階以上	合 計	4階未満	4階以上	合 計
1	イ	劇場、映画館、演芸場、観覧場						
	ロ	公 会 堂 又 は 集 会 場	37		37	38		38
2	イ	キャバレー又はナイトクラブ						
	ロ	遊 技 場 ダ ン ス ホ ー ル	4		4	4		4
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等						
	ニ	カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス 等	1		1	1		1
3	イ	待 合 、 料 理 店						
	ロ	飲 食 店	41		41	41		41
4		百貨店、マーケット又は店舗	64		64	64		64
5	イ	旅 館 、 ホ テ ル 、 宿 泊 所	28	12	40	25	11	36
	ロ	寄 宿 舎 、 下 宿 又 は 共 同 住 宅	254	14	268	254	14	268
6	イ	病院、診療所又は助産所	19	2	21	19	2	21
	ロ	老 人 短 期 入 所 施 設 等	22	4	26	21	4	25
	ハ	老人デイサービスセンター等	32		32	32		32
	ニ	幼稚園又は特別支援学校						
7		小学校、中学校、高等学校、各種学校	36	2	38	36	2	38
8		図 書 館 、 博 物 館 、 美 術 館	4		4	4		4
9	イ	蒸 気 浴 場 、 熱 気 浴 場						
	ロ	イ 以 外 の 公 衆 浴 場	3		3	3		3
10		車 両 の 停 車 場	2		2	2		2
11		神 社 、 寺 院 、 教 会	43		43	43		43
12	イ	工 場 又 は 作 業 場	195	5	200	194	7	201
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ						
13	イ	自 動 車 車 庫 又 は 駐 車 場	24		24	24		24
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫						
14		倉 庫	132		132	129	3	132
15		前各項に該当しない事業場	147	4	151	144	4	148
16	イ	特 定 複 合 用 途 防 火 対 象 物	43	1	44	43	1	44
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	26	4	30	26	3	29
合 計			1, 157	48	1, 205	1, 147	51	1, 198

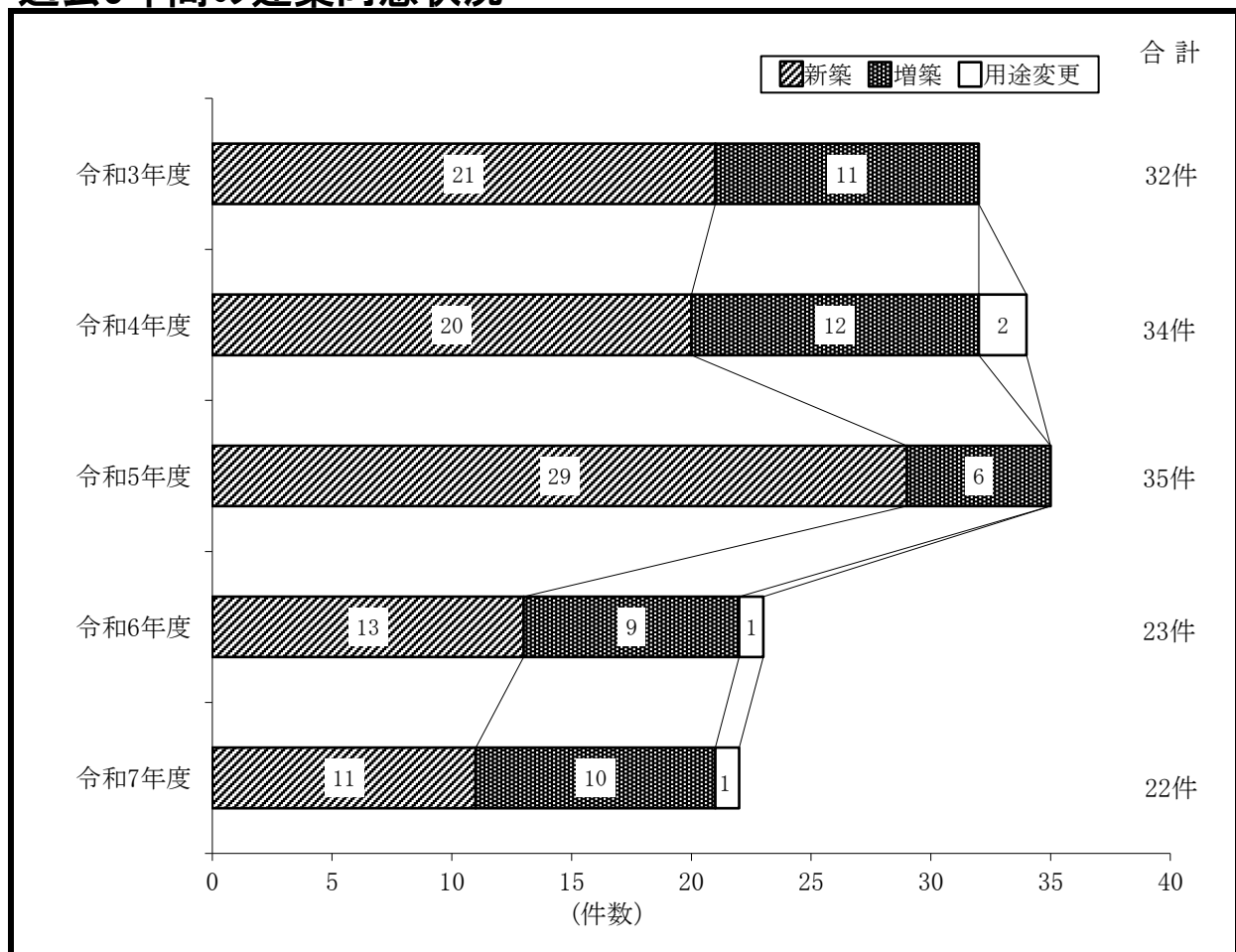
用途別建築同意状況

月 別			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	7年度 合 計	6年度 合 計
用 途																
1	イ	劇場、映画館、演芸場、観覧場														
	ロ	公会堂又は集会場				1							1		2	
2	イ	キャバレー又はナイトクラブ														
	ロ	遊技場 ダンスホール														
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等														
	ニ	カラオケボックス等														
3	イ	待合、料理店														
	ロ	飲食店								1					1	
4		百貨店、マーケット又は店舗					1								1	
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所														
	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅								2			1		3	3
6	イ	病院、診療所又は助産所										1			1	
	ロ	老人短期入所施設等	1												1	1
	ハ	老人デイサービスセンター等												1	1	
	ニ	幼稚園又は特別支援学校														
7		小学校、中学校、高等学校、各種学校														
8		図書館、博物館、美術館														
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場														
	ロ	イ以外の公衆浴場														
10		車両の停車場														
11		神社、寺院、教会														
12	イ	工場又は作業場		1			2			1		1			5	8
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ														
13	イ	自動車車庫又は駐車場														
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫														
14		倉庫								1					1	1
15		前各項に該当しない事業場			1							1			2	4
16	イ	特定複合用途防火対象物											1		1	1
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物														
その他		住 宅			1										1	3
		そ の 他						1						1	2	2
合 計			1	1	2	1	3	1		5		3	3	2	22	23

工事別建築同意状況

工事種別 区分	新 築	増 築	改 築	用 途 変 更	そ の 他	令和7年度 合 計	令和6年度 合 計
同 意	11	10		1		22	23
不 同 意							
合 計	11	10		1		22	23

過去5年間の建築同意状況



危険物施設現況

製造所等の別 区分		製 造 所	貯 蔵 所								取 扱 所					令 和 7 年 度 合 計	令 和 6 年 度 合 計	
			小 計	屋 内	屋 外 タン ク	屋 内 タン ク	地 下 タン ク	簡 易 タン ク	移 動 タン ク	屋 外	小 計	給 油		第 一 種 販 売	第 二 種 販 売			一 般
												営 業 用	自 家 用					
倍 数 別	検査済施設数	1	125	38	17	4	29	2	31	4	54	15	17		1	21	180	181
	5倍以下		58	13	3	4	21	2	13	2	10		2			8	68	67
	5倍超10倍以下		18	4	5		6		1	2	7		1			6	25	29
	10倍超50倍以下	1	20	2	7		2		9		23	2	14		1	6	44	42
	50倍超100倍以下		11	2	2				7		3	2				1	14	13
	100倍超150倍以下		5	4					1		2	2					7	7
	150倍超200倍以下		2	2							2	2					4	4
	200倍超1,000倍以下		7	7							7	7					14	14
	1,000倍超		4	4													4	5
類 別	第 1 類		1	1													1	1
	第 2 類																	
	第 3 類																	
	第 4 類	1	123	36	17	4	29	2	31	4	54	15	17		1	21	178	179
	第 5 類		1	1													1	1
	第 6 類																	
	混 在																	

危険物施設許可認可状況

区分 製造所等の別		許 可				完 成 検 査				仮使用承認		廃 止 届	
		設 置		変 更		設 置		変 更					
		7年度	6年度	7年度	6年度	7年度	6年度	7年度	6年度	7年度	6年度	7年度	6年度
製 造 所													
貯 蔵 所	屋 内				4		5	4				1	
	屋外タンク												
	屋内タンク												
	地下タンク											1	2
	簡易タンク												
	移動タンク	2		1	3	2			3				
	屋 外												
取 扱 所	給 油	1		1	4			1	4	1	4	1	
	第一種販売												
	第二種販売												
	一 般			11	6			12	5	11	5		1
合 計		3		13	17	2	5	17	12	12	9	3	3

各種届出処理状況

区 分	件 数		区 分	件 数	
	令和 7年度	令和 6年度		令和 7年度	令和 6年度
防 火 管 理 者 選 解 任 届	57	64	蓄 電 池 設 備 設 置 届	1	3
消 防 計 画 作 成 届	69	73	ネ オ ン 管 灯 設 備 設 置 届		
消 防 用 設 備 等 点 検 結 果 報 告 書	632	361	水 素 ガ ス を 充 て ん す る 気 球 設 置 届		
液 化 石 油 ガ ス 等 貯 蔵 取 扱 届	16	16	少 量 危 険 物 貯 蔵 取 扱 届	11	9
防 火 対 象 物 使 用 開 始 届	37	29	指 定 可 燃 物 貯 蔵 取 扱 届	2	2
消 防 訓 練 実 施 届	204	203	毒 物 、 劇 物 貯 蔵 取 扱 届		
炉 設 置 届		1	火 災 と ま ぎ ら わ し い 煙 等 届	72	69
ボ イ ラ ー 設 備 等 設 置 届	1	4	煙 火 (打 上 げ 、 仕 掛 け) 届	6	4
発 電 設 備 設 置 届	4	3	消 防 用 設 備 等 着 工 届	46	52
変 電 設 備 設 置 届	9	10	消 防 用 設 備 等 設 置 届	66	47
防 火 対 象 物 点 検 結 果 報 告 書	24	26	露 店 等 の 開 設 届	49	46

消防用設備等設置検査実施状況

区 分	件 数	
	令 和 7 年 度	令 和 6 年 度
検 査 済 証	40	32

広報、啓発活動状況

令和7年度

区 分		回 数 等	延べ対象者数等
消 防 広 場（菰野町文化祭）		1回	約 270人
消 防 フ ェ ア		1回	約 400人
庁 舎 見 学		9回	400人
訓 練 指 導		32回	4,244人
一 人 暮 ら し 高 齢 者 防 火 訪 問		12回	12人
巡 回 広 報		11回	町内全域
防 火 だ よ り の 発 刊		2回	27,800部
写 生 大 会		1回	65人
防 火 書 道 コ ン ク ー ル		1回	460人
広報印刷物等	ポ ス タ ー		1,000枚
	チ ラ シ		300枚
	広 報 紙	20回	284,000部
そ の 他	の ぼ り	28日間	100本
	懸 垂 幕	21日間	3枚
	横 断 幕	28日間	13枚
	防 災 ラ ジ オ 放 送	17回	12,980台

【令和8年度全国統一防火標語】

「火の確認 いい日を支える いい習慣」

【令和8年度危険物安全週間推進標語】

「つかみ取れ！ めざす無事故の頂を」

火災



火災は空気が乾燥する季節に発生しやすくなります。万が一ホテルなどの中高層建物から火災が発生した場合、甚大な被害につながる恐れがあり、日頃からの備えが極めて重要です。そこで消防本部と消防団が一体となり、災害対応の向上と連携の強化を目指して、防災週間特別消防訓練を行っています。

防災週間特別消防訓練

令和7年8月29日

於：湯の山温泉 グリーンホテル

火 災

令和7年中は8件の火災が発生し、これら全火災での損害額は21,450千円でした。

火災件数は前年に比べて3件減少しています。建物火災については昨年の0件から3件に増加、林野火災の発生はありませんでした。

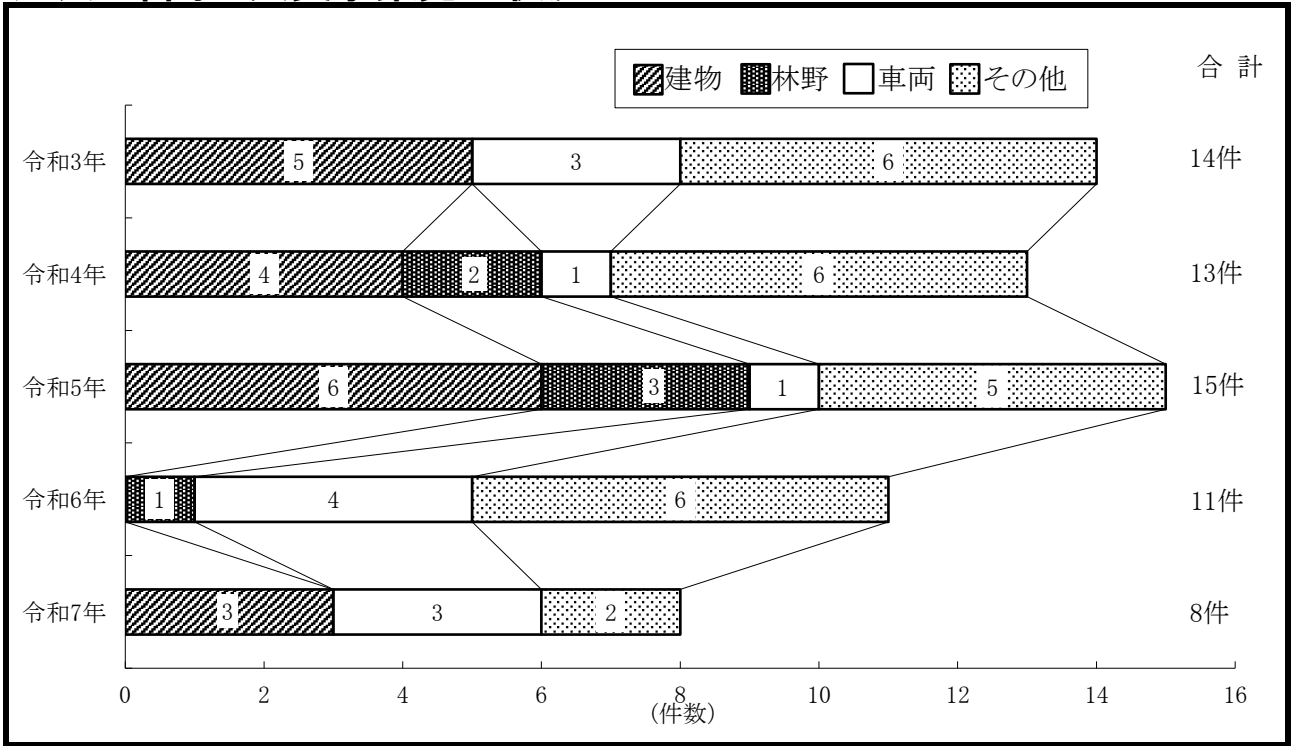
火災事案発生状況

区 分 \ 年 別		令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
全 国	火 災 件 数	35,222	36,314	38,672	37,141	
	出 火 率	2.8	2.9	3.1	3.0	
	1件当り損害額(千円)	2,959	2,802	2,436	2,689	
三重県	火 災 件 数	621	617	690	659	
	出 火 率	3.5	3.5	3.9	3.7	
	1件当り損害額(千円)	2,214	2,740	1,985	1,985	
菰野町	火 災 件 数	14	13	15	11	8
	出 火 率	3.4	3.2	3.6	2.7	2.0
	1件当り損害額(千円)	566	1,576	499	141	2,681

※出火率＝人口1万人あたりの出火件数

菰野町人口 40,468人(令和7年12月31日現在)

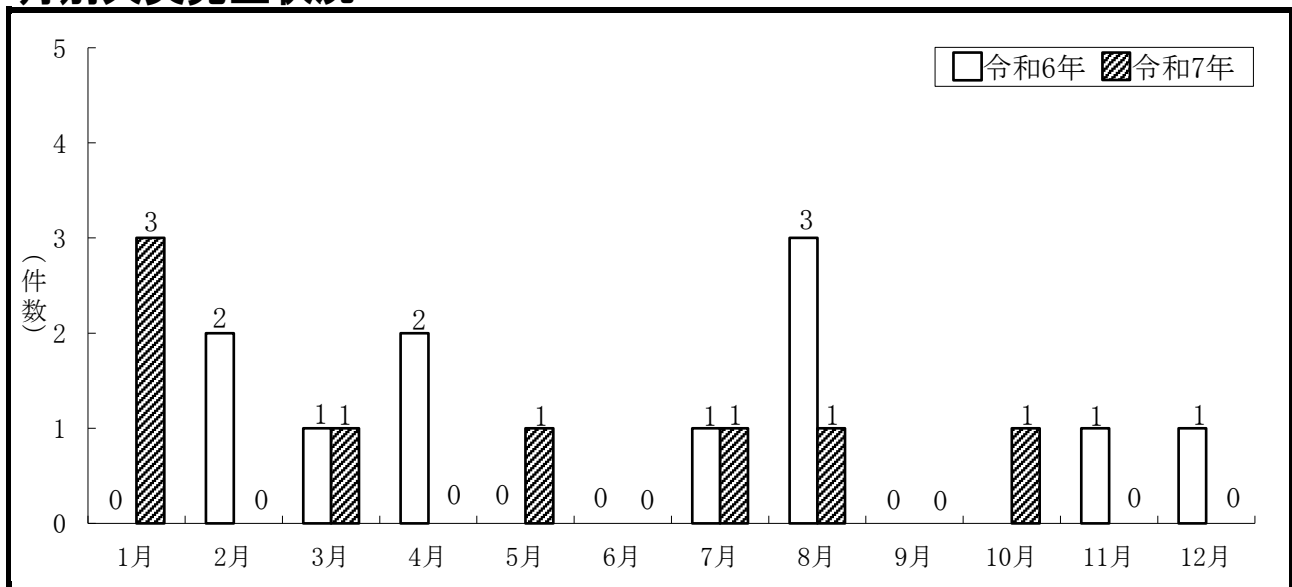
過去5年間の火災事案発生状況



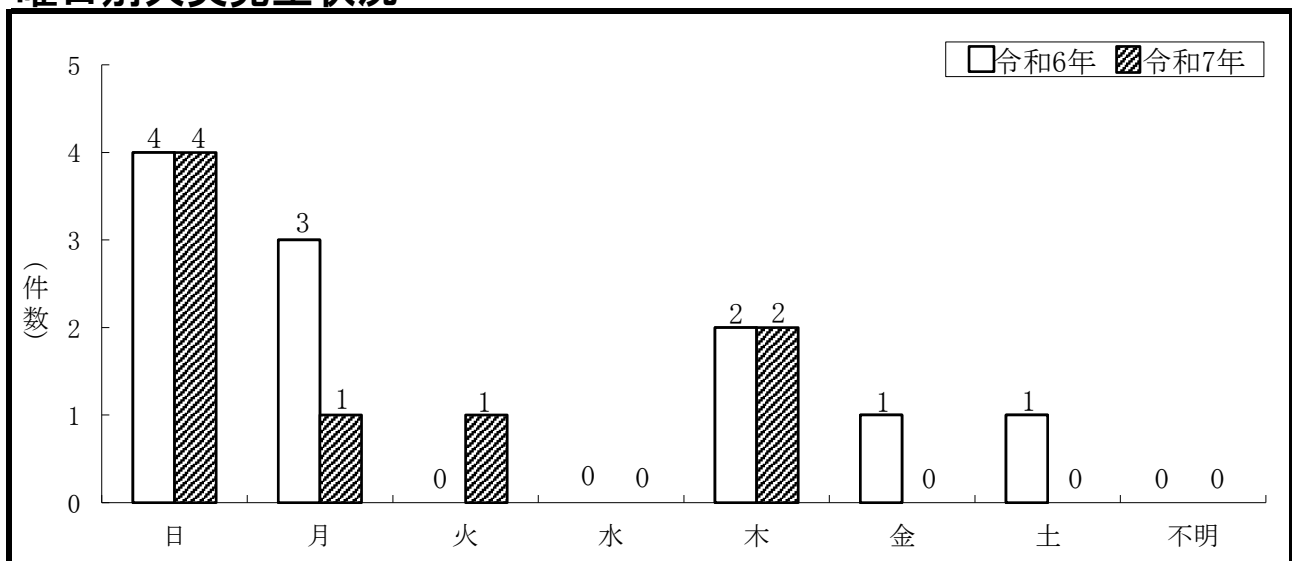
地区別火災発生状況

区分 地区	火災 件数	火災種別				建物 焼損面積 (㎡)	林野 焼損面積 (a)	焼損棟数					り災世帯数	損害額 (千円)	死傷者	
		建物火災	林野火災	車両火災	その他火災			全焼	半焼	部分焼	ぼや	合計			死者	負傷者
菰野	2	2				358		1	1			2	1	7,906		
鵜川原	1			1										16		1
竹永	2	1			1	58		1				1	1	13,262		
朝上	2			1	1									16		1
千種	1			1										250		
合計	8	3		3	2	416		2	1			3	2	21,450		2

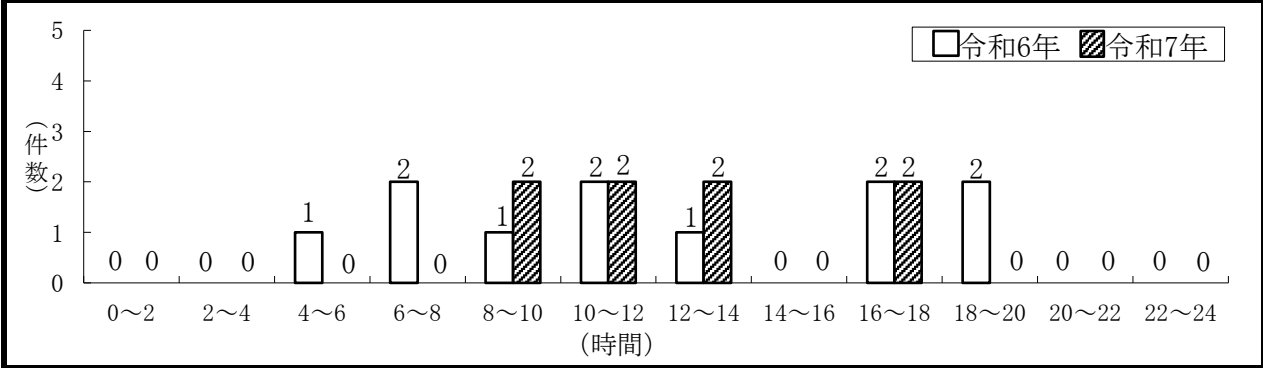
月別火災発生状況



曜日別火災発生状況



時間別火災発生状況



火災出動状況

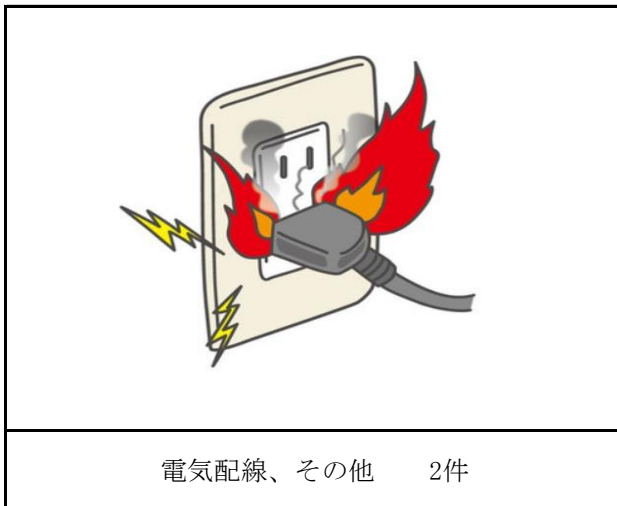
種別 区分	火 災					非 火 災				管外
	建 物	林 野	車 両	その他	計	警 戒	誤 報 誤 認 虚 報	その他	計	
署単独出動			1		1	78	2		80	1
第 1 出 動	3		1	2	6					
第 2 出 動										
第 3 出 動										
事 後 聞 知			1		1					
合 計	3		3	2	8	78	2		80	1

火災出動区分詳細

火災種別	出動区分	消防本部、消防署出動車両	消防団出動車両
建物 航空機 危険物施設	第1出動	タンク車 ポンプ車 指揮車 3車両	地元分団 近隣分団 本部分団 4～5車両
	第2出動	タンク車 ポンプ車 指揮車 3車両	全分団11車両
林野	第1出動	タンク車 ポンプ車 水槽車 指揮車 4車両	地元分団 近隣分団 本部分団 4～5車両
	第2出動	タンク車 ポンプ車 水槽車 指揮車 4車両	全分団11車両
車両 特殊車両 危険物車両	第1出動	タンク車 ポンプ車 水槽車 指揮車 4車両	地元分団 本部分団 2～3車両
	第2出動	タンク車 ポンプ車 水槽車 指揮車 4車両	地元分団 近隣分団 本部分団 4～5車両
	第3出動	タンク車 ポンプ車 水槽車 指揮車 4車両	全分団11車両
枯草 その他	第1出動	タンク車 ポンプ車 指揮車 3車両	地元分団 本部分団 2～3車両
	第2出動	タンク車 ポンプ車 指揮車 3車両	地元分団 近隣分団 本部分団 4～5車両
	第3出動	タンク車 ポンプ車 指揮車 3車両	全分団11車両
中高層	第1出動	タンク車 ポンプ車 はしご車 指揮車 4車両	地元分団 近隣分団 本部分団 4～5車両
	第2出動	タンク車 ポンプ車 はしご車 指揮車 4車両	全分団11車両
トンネル (高速道路)	第1出動	タンク車 ポンプ車 水槽車 救助工作車 指揮車 5車両	
	第2出動	タンク車 ポンプ車 水槽車 救助工作車 指揮車 5車両	
事後聞知		タンク車 指揮車 1～2車両	

※高速道路内の火災は原則として消防団は出動しない。

絵で見る火災原因（8件）



全国的主要な出火原因(上位10位)

令和6年中

順位	出火原因（割合）	順位	出火原因（割合）
1	たばこ（8.2%）	6	火入れ（4.9%）
2	たき火（7.5%）	7	電灯電話等の配線（4.6%）
3	こんろ（7.3%）	8	配線器具（4.4%）
4	電気機器（6.9%）	9	放火の疑い（4.1%）
5	放火（6.4%）	10	ストーブ（2.7%）

令和7年版消防白書

救急、救助



大規模災害や多数傷病者事案に備え、関係機関との連携強化及び救急活動の向上を目的として、消防本部では集団救急訓練を実施しています。実災害を想定した訓練を聖十字看護専門学校や菰野厚生病院の協力のもと実施しました。

集団救急事故対応訓練
令和7年11月26日
於：菰野町消防本部

救 急

令和7年中の救急出動件数は1,904件、搬送人員は1,831人でした。1日あたり平均5.2件の出動で、町民21人に1人の割合で救急車が利用されたことになります。

救急件数を事故種別で見ると、急病が1,306件(68.6%)で最も多く、続いて一般負傷が329件(17.3%)、交通が138件(7.2%)、その他が131件(6.9%)となりました。

救急出動件数は過去最多を記録し、特に急病が昨年と比べ119件増加しました。

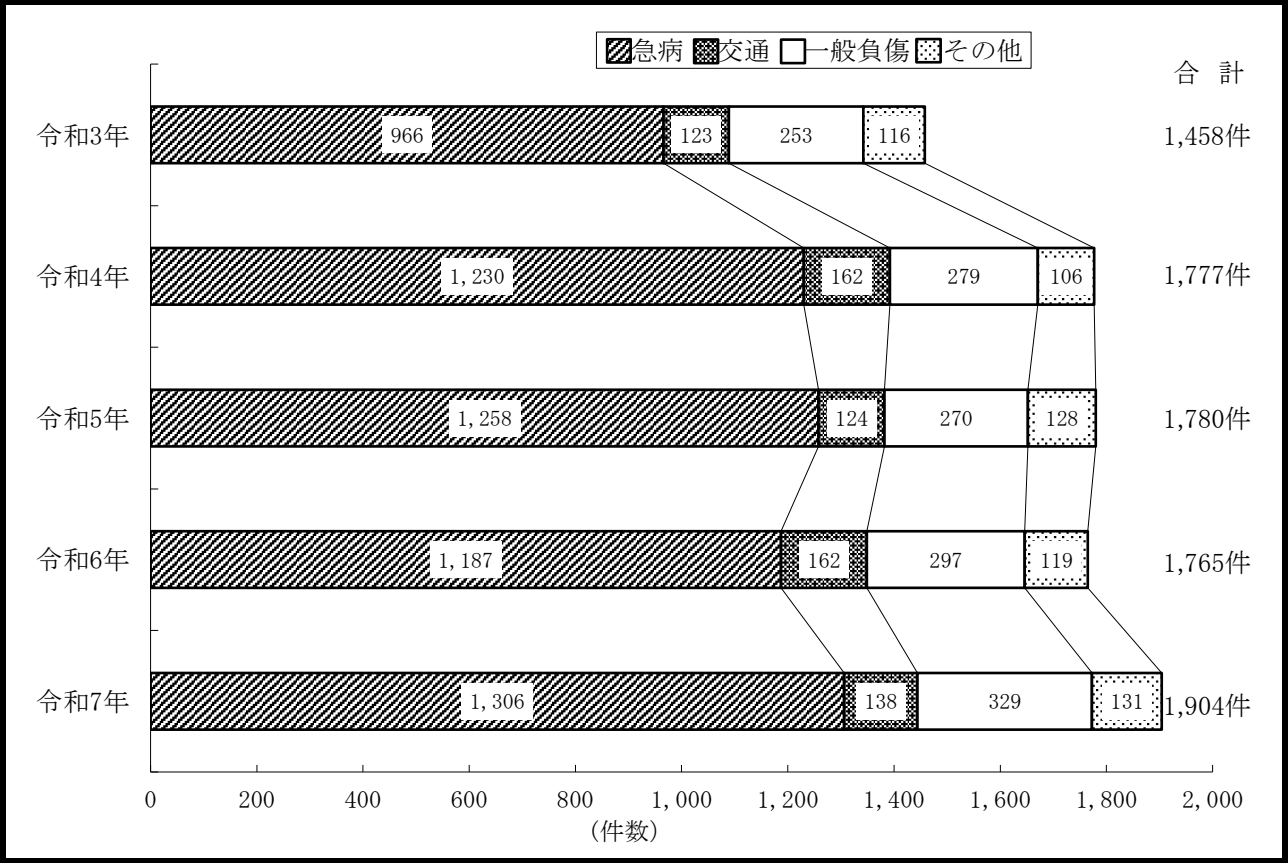
救急事案発生状況

年 別		令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
区 別	救急件数	6,193,581	7,229,572	7,638,558	7,718,380	
	発生率	491	573	606	612	
三 重 県	救急件数	90,460	107,157	112,538	109,417	
	発生率	511	605	636	618	
菰 野 町	救急件数	1,458	1,777	1,780	1,765	1,904
	発生率	352	430	434	433	470

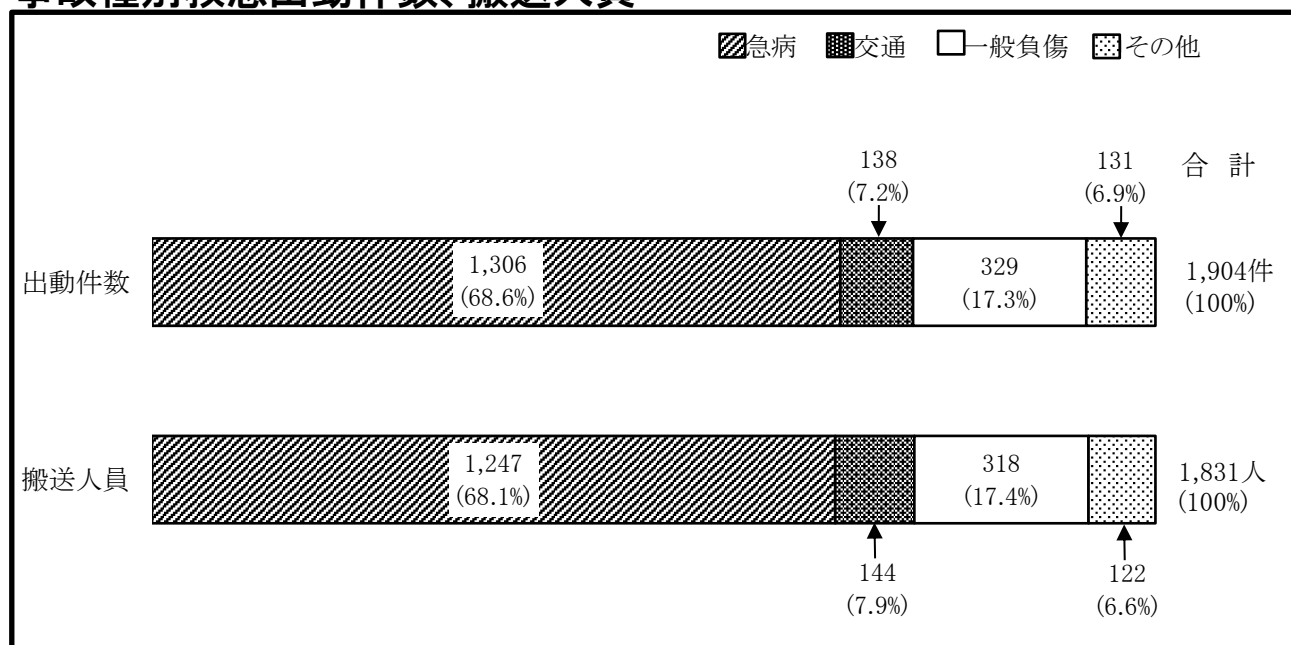
※発生率＝人口1万人あたりの発生件数

菰野町人口 40,468人(令和7年12月31日現在)

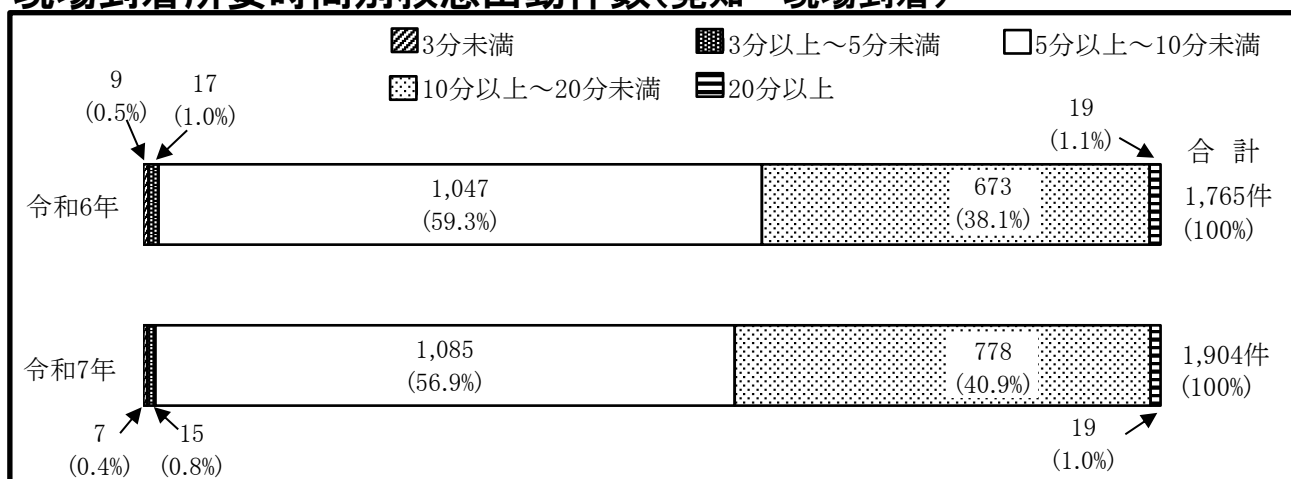
過去5年間の救急事案発生状況



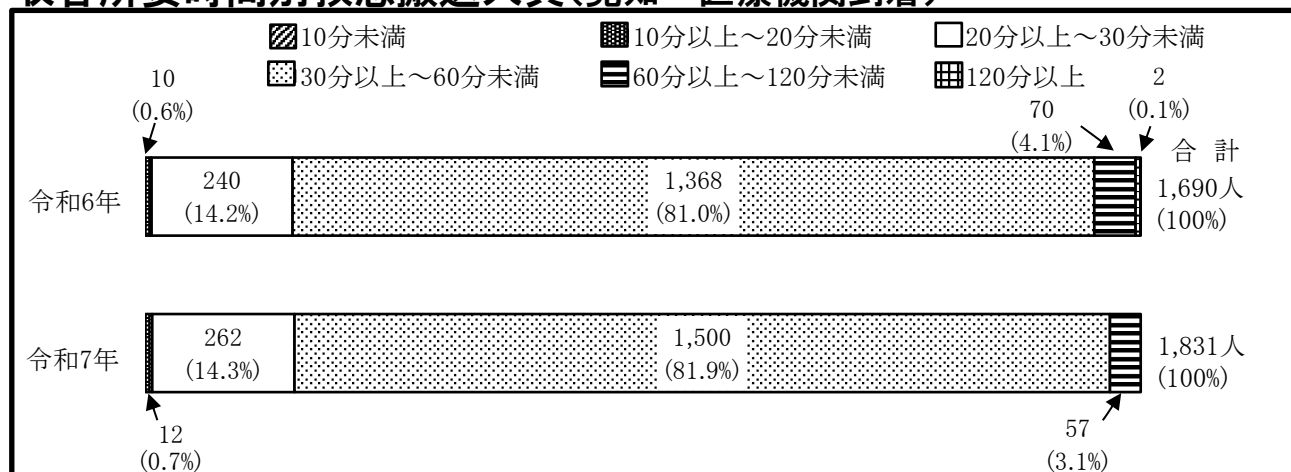
事故種別救急出動件数、搬送人員



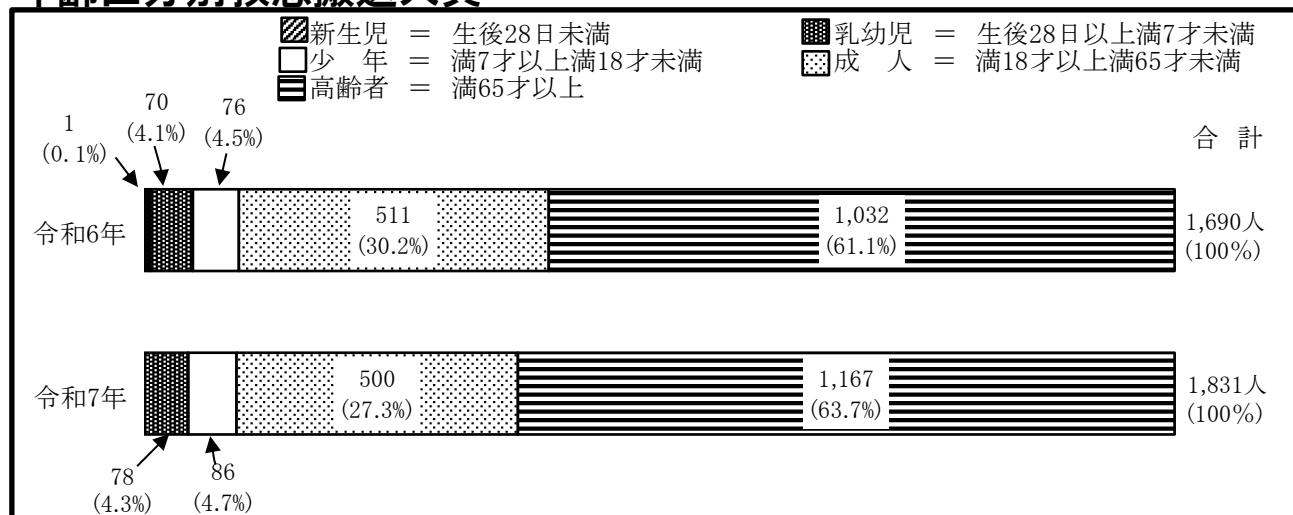
現場到着所要時間別救急出動件数(覚知～現場到着)



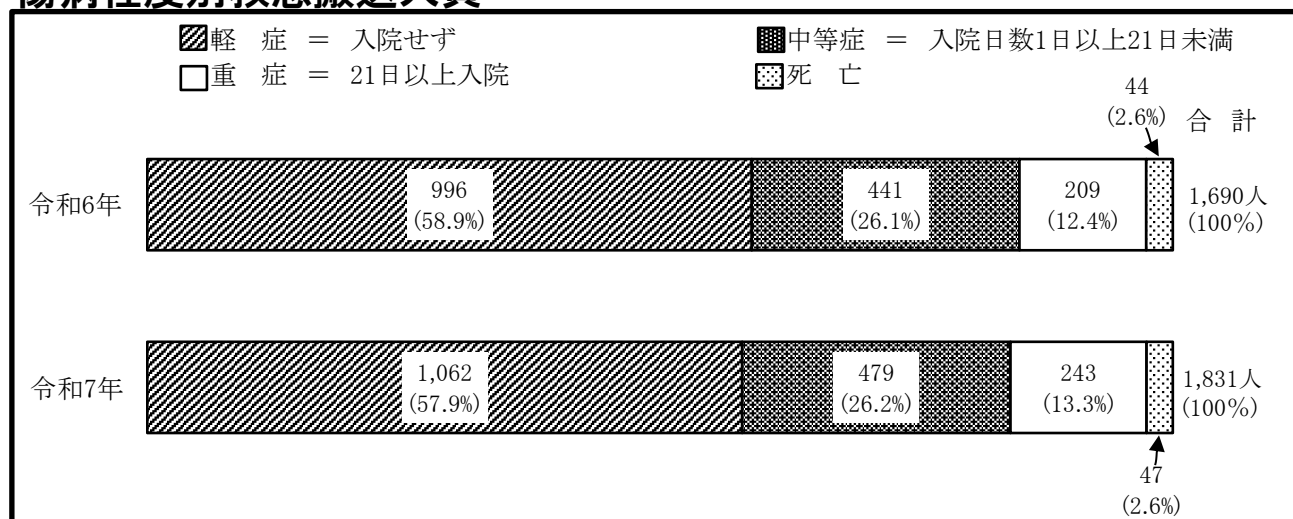
収容所要時間別救急搬送人員(覚知～医療機関到着)



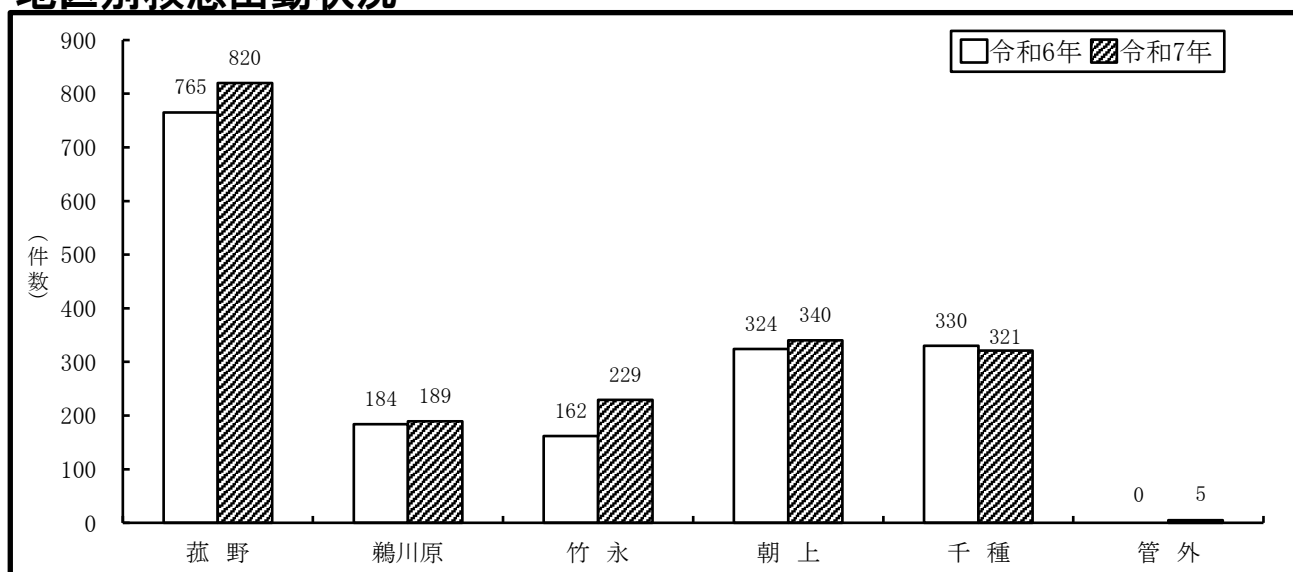
年齢区分別救急搬送人員



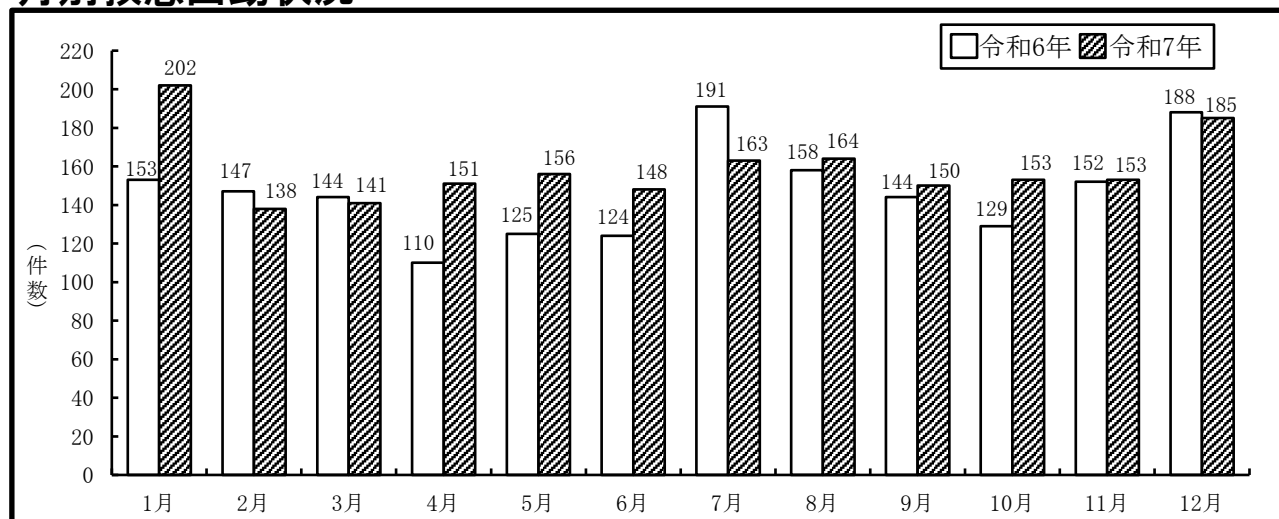
傷病程度別救急搬送人員



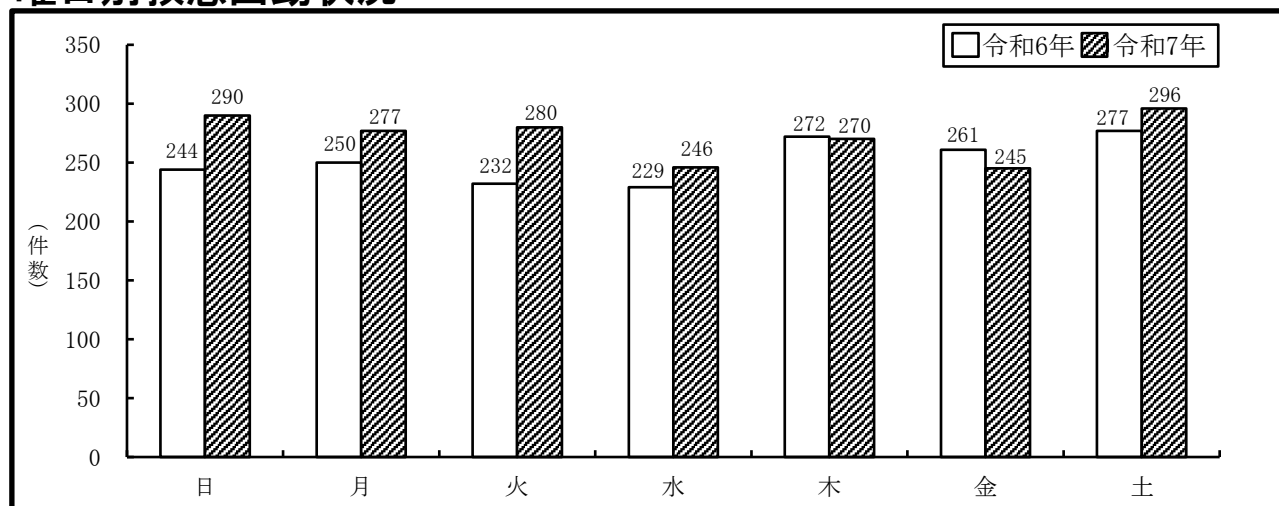
地区別救急出動状況



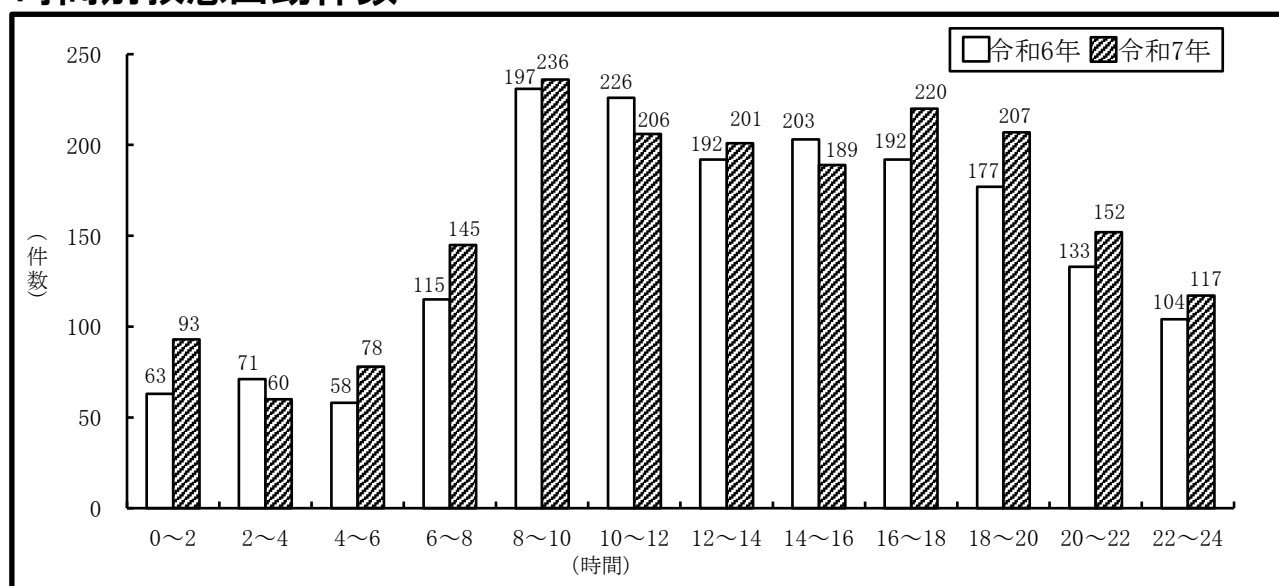
月別救急出動状況



曜日別救急出動状況



時間別救急出動件数



年齢区分別、傷病程度別救急搬送人員

年齢区分 傷病程度	新 生 児	乳 幼 児	少 年	成 人	高 齢 者	令和7年 合計	令和6年 合計
死 亡				2	45	47	44
重 症		1	3	41	198	243	209
中 等 症		11	20	88	360	479	441
軽 症		66	63	369	564	1,062	996
そ の 他							
合 計		78	86	500	1,167	1,831	1,690

事故種別、年齢区分別救急搬送人員

事故種別 年齢区分	火災	自然 災害	水難	交通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	その他	令和7年 合計	令和6年 合計
新 生 児													1
乳 幼 児				3			19			56		78	70
少 年				22		10	11		1	42		86	76
成 人	1			76	17	3	52	3	4	329	15	500	511
高 齢 者	1			43	10		236	1		820	56	1,167	1,032
合 計	2			144	27	13	318	4	5	1,247	71	1,831	1,690

事故種別、傷病程度別救急搬送人員

事故種別 傷病程度	火災	自然 災害	水難	交通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	その他	令和7年 合計	令和6年 合計
死 亡										46	1	47	44
重 症	1			5	5		61	1	3	145	22	243	209
中 等 症				22	2		71		2	344	38	479	441
軽 症	1			117	20	13	186	3		712	10	1,062	996
そ の 他													
合 計	2			144	27	13	318	4	5	1,247	71	1,831	1,690

事故種別、時間別救急出動件数

事故種別 区分		火災	自然 災害	水難	交通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	その他	令和 7年 合計	令和 6年 合計
休 日		1			38	3	10	106	2	2	414	10	586	328
休日以外の日		1		1	100	24	3	223	2	7	892	65	1,318	1,437
時 間 内 訳	0～2				4			8			79	2	93	63
	2～4					1		8	1		49	1	60	71
	4～6				2			14			61	1	78	58
	6～8			1	7	2		25			110		145	115
	8～10				17	4	2	41		1	160	11	236	231
	10～12				17	3	1	40		2	124	19	206	226
	12～14	1			17	7	2	42	1	1	113	17	201	192
	14～16				17	6	2	37	1		117	9	189	203
	16～18	1			27	4	3	48		2	124	11	220	192
	18～20				22		1	30	1		150	3	207	177
	20～22				4		1	23		1	123		152	133
	22～24				4		1	13		2	96	1	117	104
令和7年計		2		1	138	27	13	329	4	9	1,306	75	1,904	
令和6年計				1	162	28	7	297	3	8	1,187	72		1,765

事故種別、応急処置件数

事故種別 応急処置	急 病	交 通	一般負傷	そ の 他	合 計
止 血	25	17	62	15	119
固 定	35	94	131	19	279
人工呼吸	2				2
心肺蘇生	46				46
酸素吸入	308	6	15	30	359
気道確保	66		1	1	68
気道確保（特定行為）	10				10
保 温	80	8	14	14	116
被 覆	12	23	86	86	207
除 細 動	6				6
静脈路確保	39				39
薬剤投与	30				30
ブドウ糖投与	4				4
そ の 他	4,785	526	1,123	351	6,785
合 計	5,448	674	1,432	516	8,070

※人工呼吸は単独で行った場合のみ計上

※その他は血圧、血中酸素飽和度の測定、聴診器による呼吸音聴取等を計上

事故種別、医療機関別救急搬送人員

告示別等	事故種別 開設別		急 病		交 通		一般負傷		そ の 他		令和7年合計		令和6年合計	
			うち 管 外		うち 管 外		うち 管 外		うち 管 外		うち 管 外		うち 管 外	
救急告示医療機関	国 立								2	2	2	2		
	公 立		792	792	83	83	186	186	88	88	1,149	1,149	976	976
	公 的		379	118	55	20	121	38	26	10	581	186	620	175
	私 的	病 院	66	66	5	5	9	9	5	5	85	85	81	81
		診 療 所												
	計		1,237	976	143	108	316	233	121	105	1,817	1,422	1,677	1,232
その他の医療機関	国 立													
	公 立													
	公 的													
	私 的	病 院	4	4	1	1			1	1	6	6	8	8
		診 療 所	6	5			2	1			8	6	5	3
	計		10	9	1	1	2	1	1	1	14	12	13	11
計	国 立								2	2	2	2		
	公 立		792	792	83	83	186	186	88	88	1,149	1,149	976	976
	公 的		379	118	55	20	121	38	26	10	581	186	620	175
	私 的	病 院	70	70	6	6	9	9	6	6	91	91	89	89
		診 療 所	6	5			2	1			8	6	5	3
	計		1,247	985	144	109	318	234	122	106	1,831	1,434	1,690	1,243
その他の場所	接骨院等													
	そ の 他													
	計													
令和7年合計			1,247	985	144	109	318	234	122	106	1,831	1,434		
令和6年合計			1,131	845	161	121	284	182	114	95			1,690	1,243

救 助

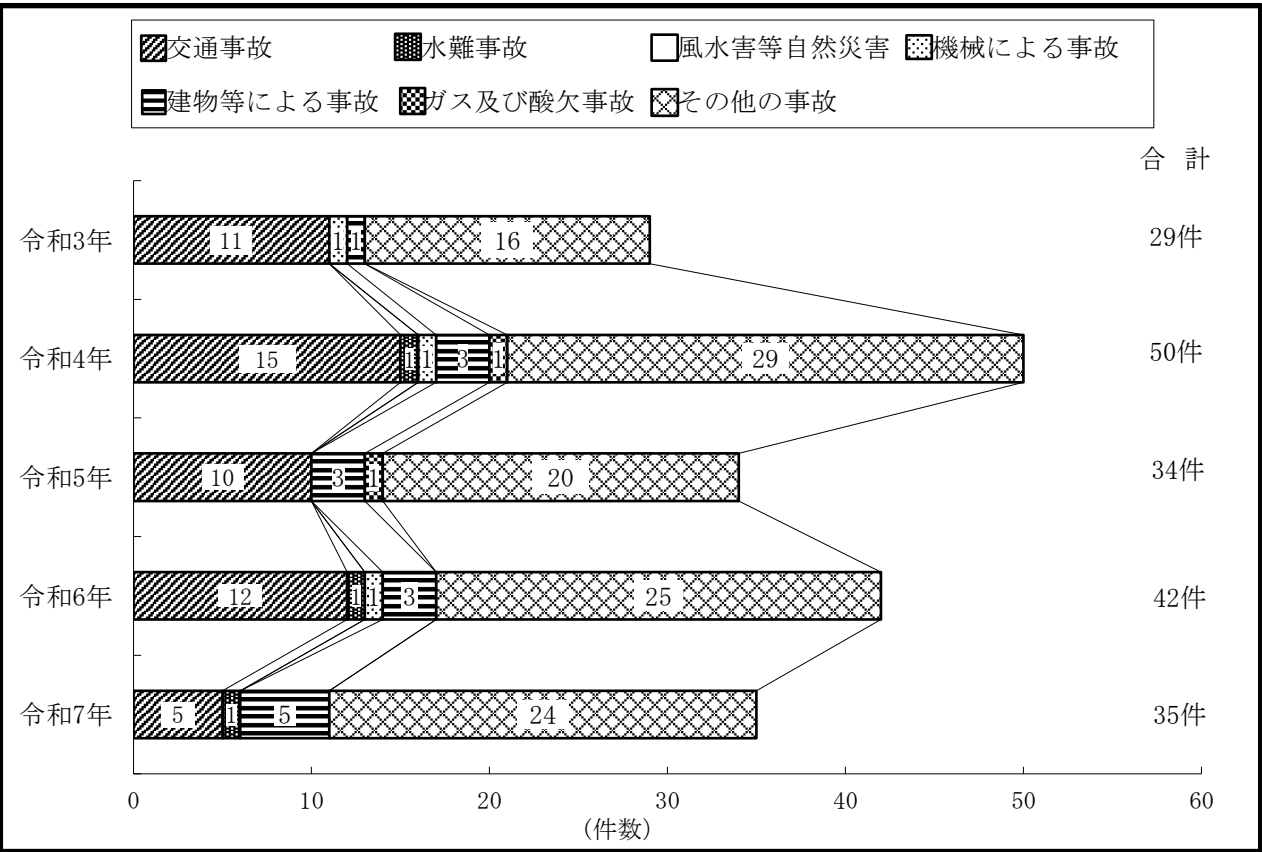
令和7年中の救助出動件数は35件、救助人員は26人でした。

救助件数を事故種別で見ると、その他の事故24件（うち山岳救助19件）が最も多く、交通事故が5件、建物等による事故が5件、水難事故が1件となりました。

救助事案発生状況

区 別		年 別	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
全 国	救助出動件数		99,395	108,515	115,572	118,365	
	救助活動件数		63,198	68,123	71,707	72,017	
	救助人員		59,861	62,679	66,815	67,894	
三 重 県	救助出動件数		930	983	1,030	1,074	
	救助活動件数		637	663	679	729	
	救助人員		702	721	725	761	
菰 野 町	救助出動件数		29	50	34	42	35
	救助活動件数		23	32	24	27	23
	救助人員		31	33	47	28	26

過去5年間の救助事案発生状況



事故種別、救助出動件数、救助人員

種別 区分	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	風水害 等自然 災 害	機 械 による 事 故	建物等 による 事 故	ガス及 び酸欠 事 故	破 裂 事 故	その他 の事故	令 和 7 年 合 計	令 和 6 年 合 計
	建 物	他										
出 動 件 数			5	1			5			24	35	42
救 助 人 員			2	1			3			20	26	28

事故種別、救助出動人員

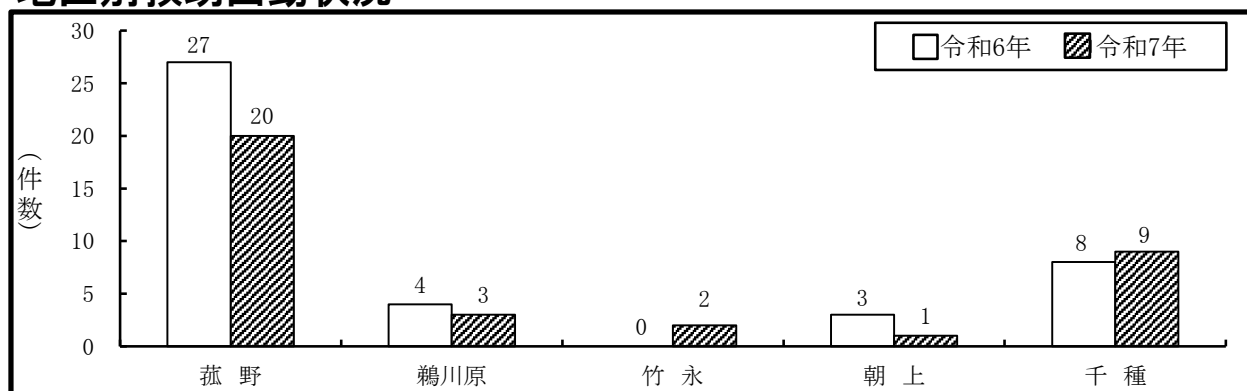
種別 区分	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	風水害 等自然 災 害	機 械 による 事 故	建物等 による 事 故	ガス及 び酸欠 事 故	破 裂 事 故	その他 の事故	令 和 7 年 合 計	令 和 6 年 合 計
	建 物	他										
救 助 隊 員			18	4			22			99	143	147
消 防 隊 員			8							3	11	13
救 急 隊 員			21	3			13			24	61	81
合 計			47	7			35			126	215	241

事故種別、救助出動車両

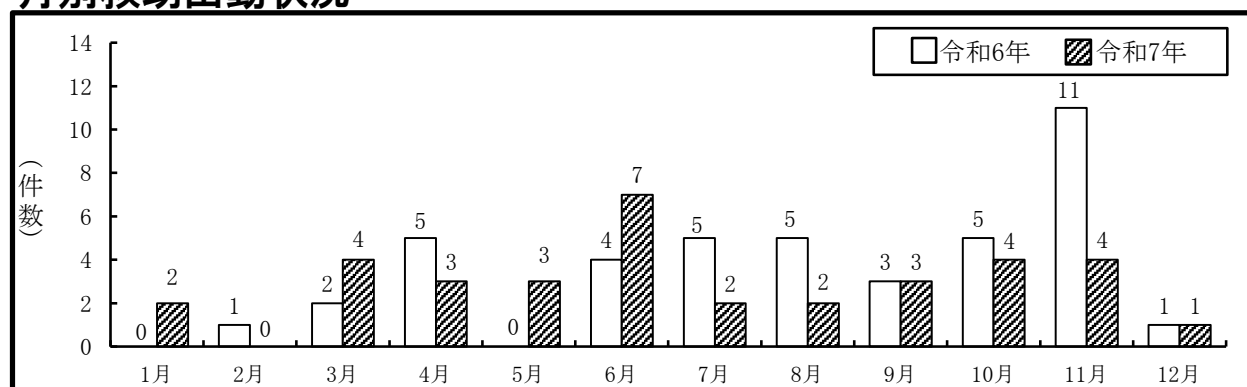
種別 車両	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	風水害 等自然 災 害	機 械 による 事 故	建物等 による 事 故	ガス及 び酸欠 事 故	破 裂 事 故	その他 の事故	令 和 7 年 合 計	令 和 6 年 合 計
	建 物	他										
救 助 工 作 車			5	1			5			5	16	22
タ ン ク 車												
ポ ン プ 車			3								3	6
救 急 車			7	1			5			8	21	27
指 揮 車												2
広 報 車										19	19	19
資機材搬送車												1
その他の車両										2	2	5
合 計			15	2			10			34	61	82

※その他の車両とは、査察車、小型動力ポンプ付積載車、防災広報車

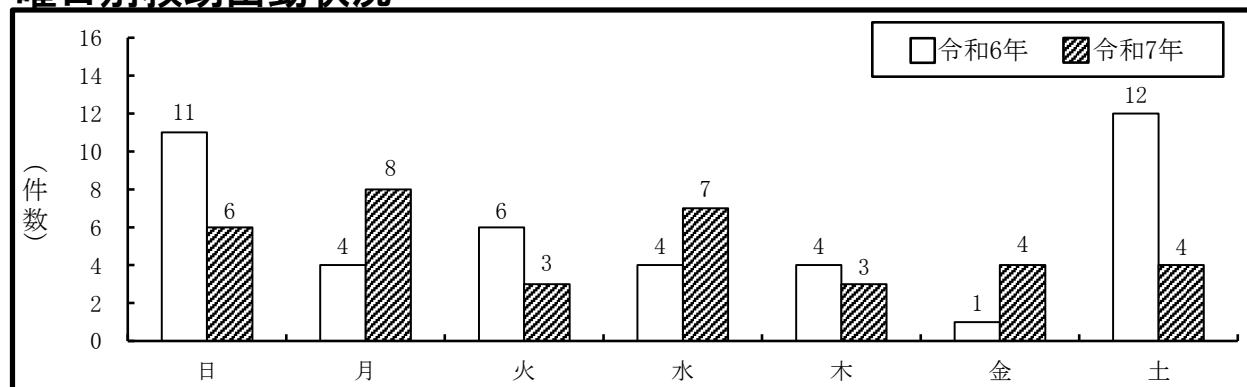
地区別救助出動状況



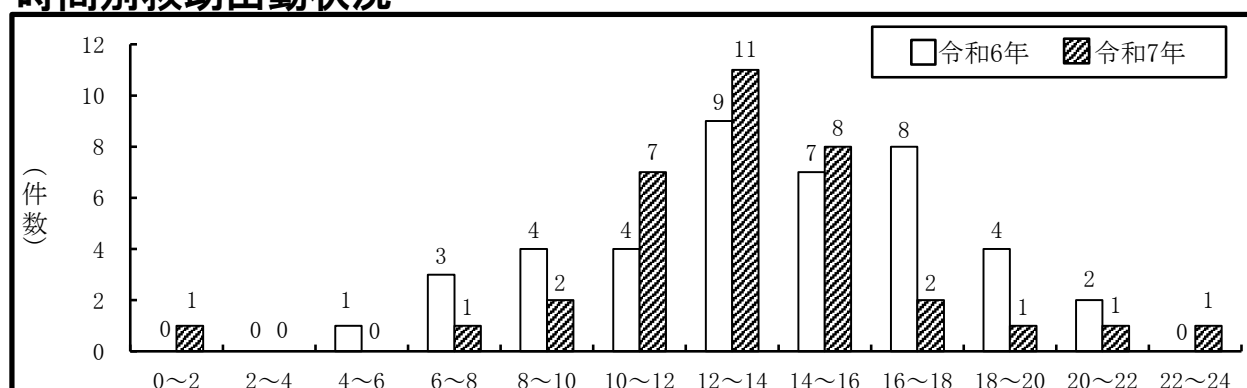
月別救助出動状況



曜日別救助出動状況



時間別救助出動状況

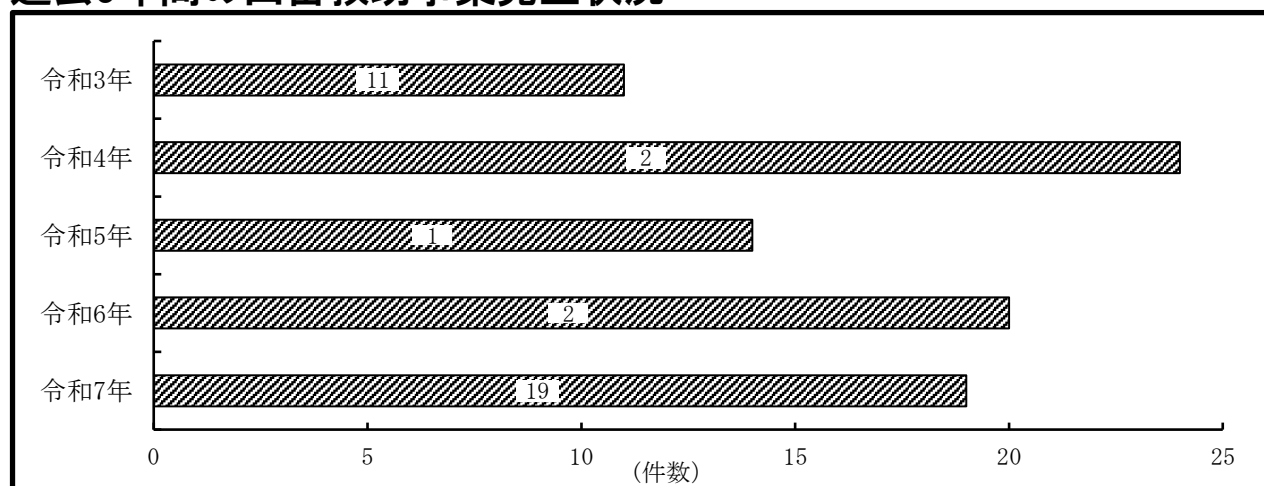


山岳救助

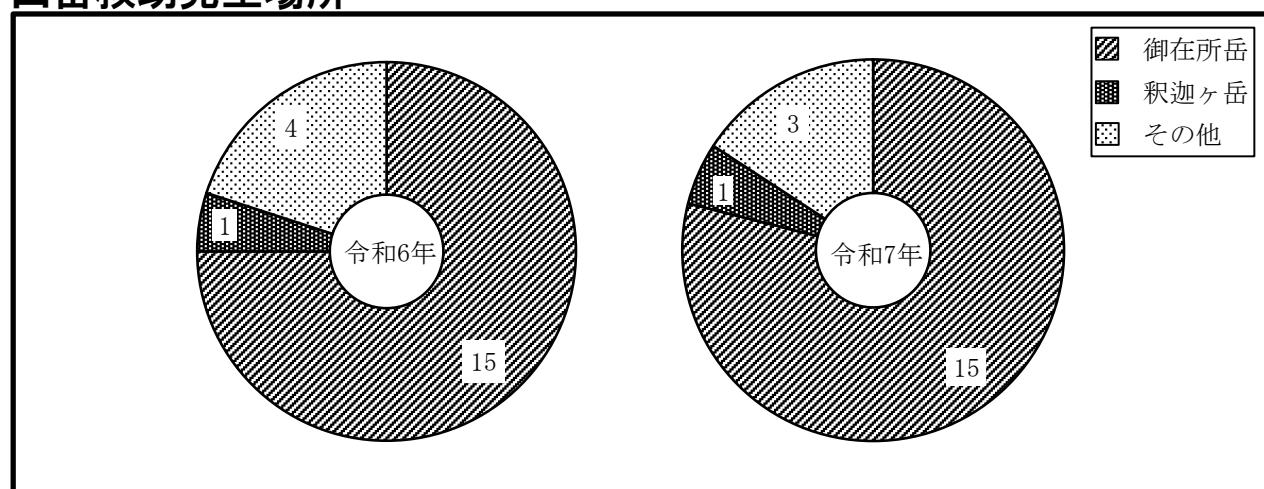
当町は面積の約3分の1が山岳地帯で多数の登山者が入山することから年間を通して山岳救助事案が多く発生しており、令和7年中は19件の山岳救助出動がありました。

山岳救助事案の半数が防災ヘリコプターと連携し救助活動を行います。山岳救助の出動から救助完了までの平均活動時間は3時間39分であり、最長活動時間は7時間21分を要しました。

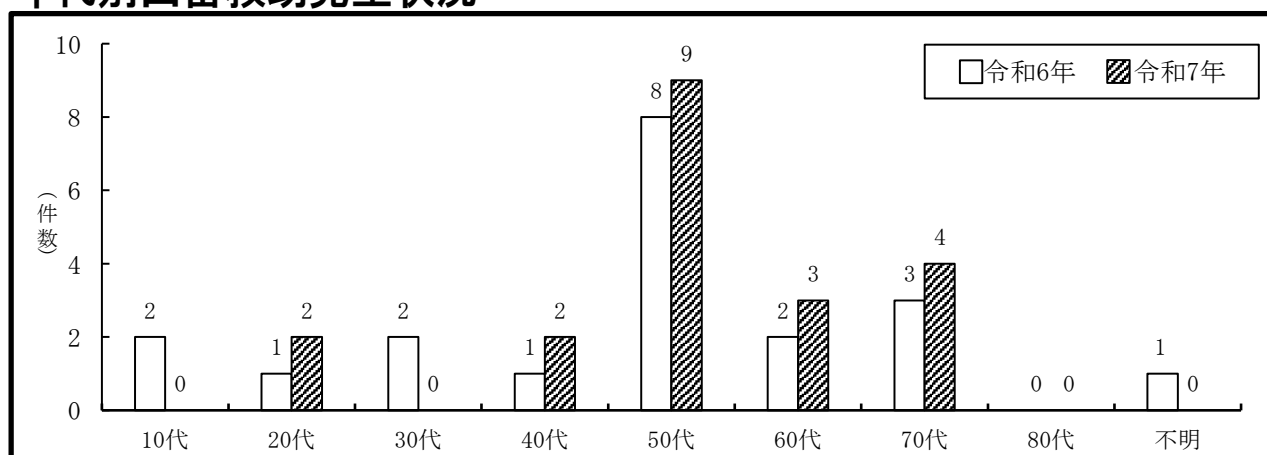
過去5年間の山岳救助事案発生状況



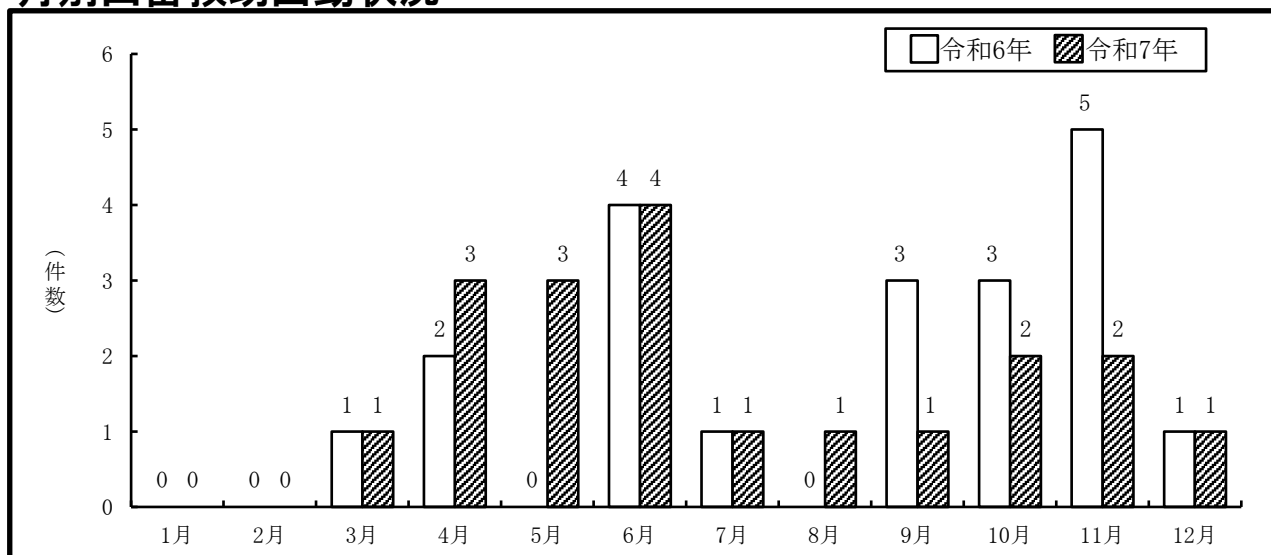
山岳救助発生場所



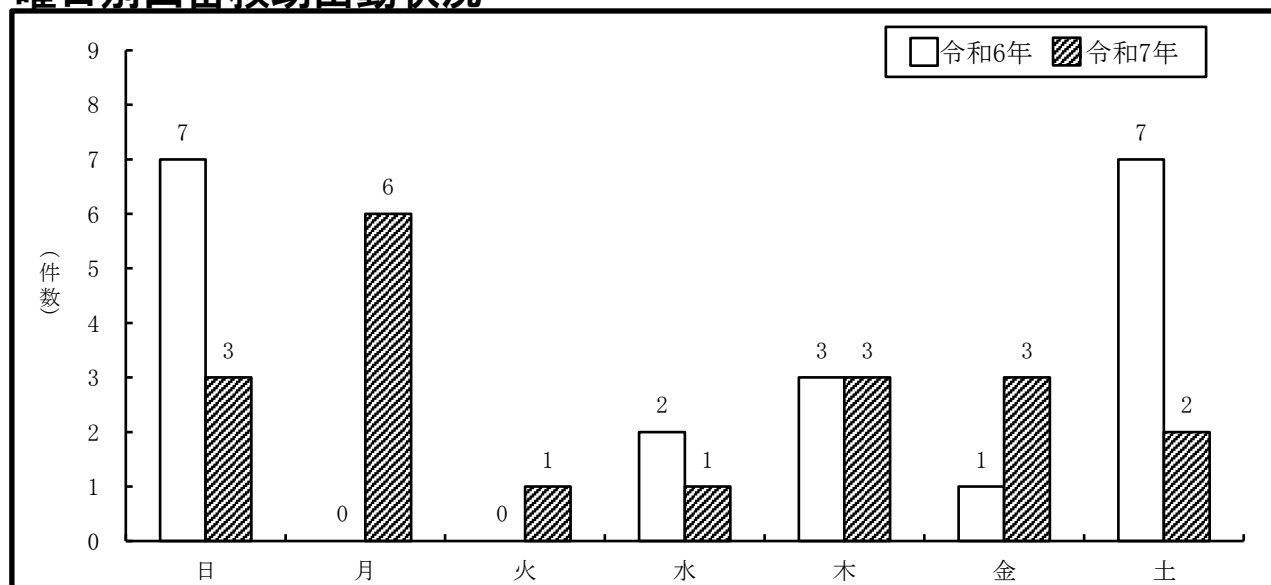
年代別山岳救助発生状況



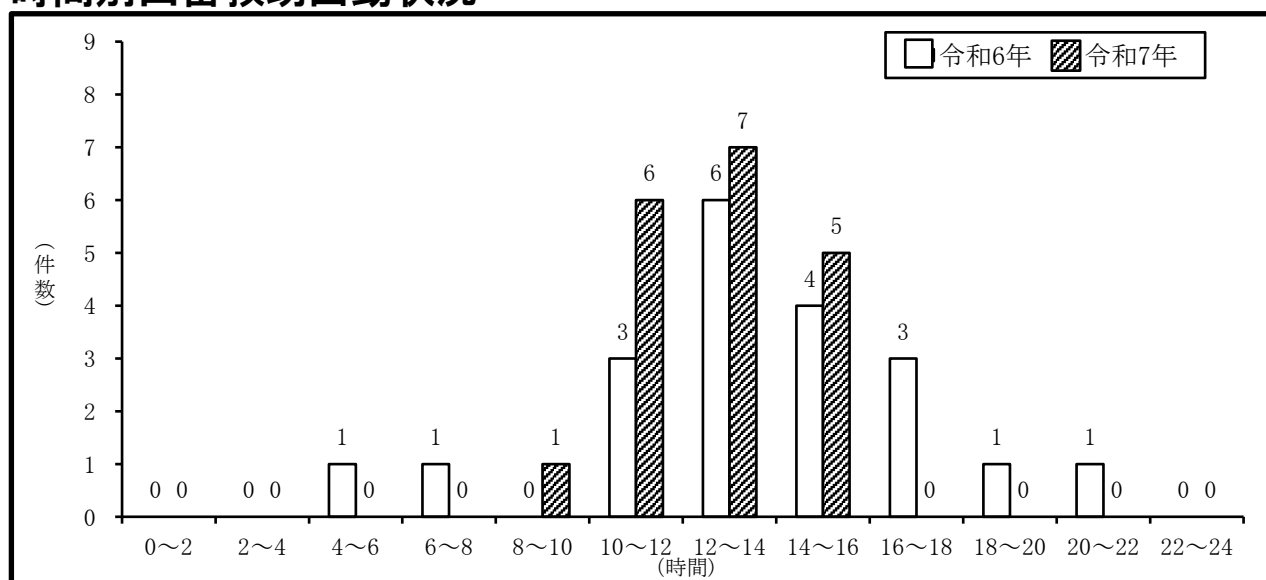
月別山岳救助出動状況



曜日別山岳救助出動状況



時間別山岳救助出動状況



気象、通信、その他



災害発生時には、菰野町民が一丸となり迅速に対応することが重要になります。区長や事業所の方々、自警団、消防団といった各機関が緊密に連携し、水防工法に関する知識の共有および技術の習得を目的とした水防訓練を実施いたしました。

水防訓練

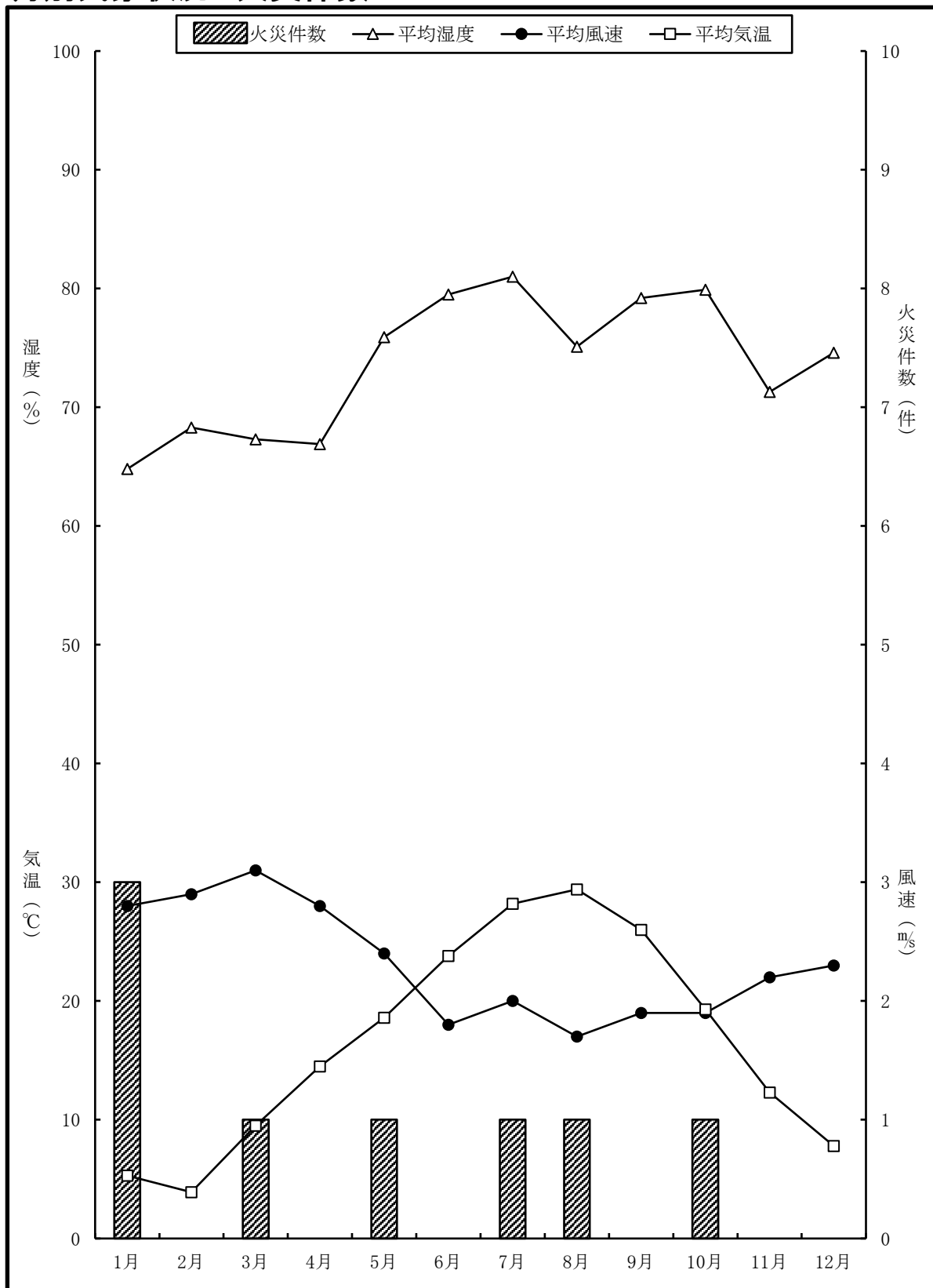
令和7年5月18日

於：三滝川河川敷

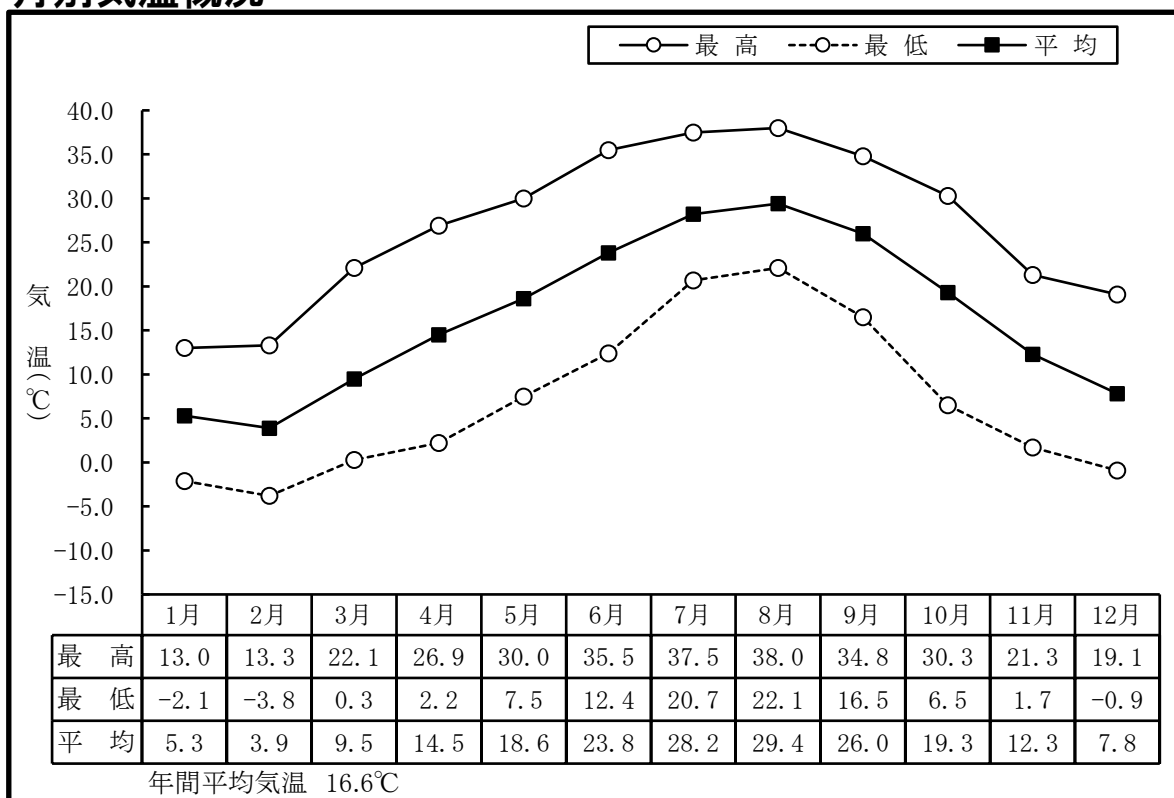
気 象

気象観測システムによる自動定時観測（風速、気温、湿度、降水量等）を行っています。また台風、豪雨や警報発表時には定時以外においても必要に応じた観測体制をとっています。

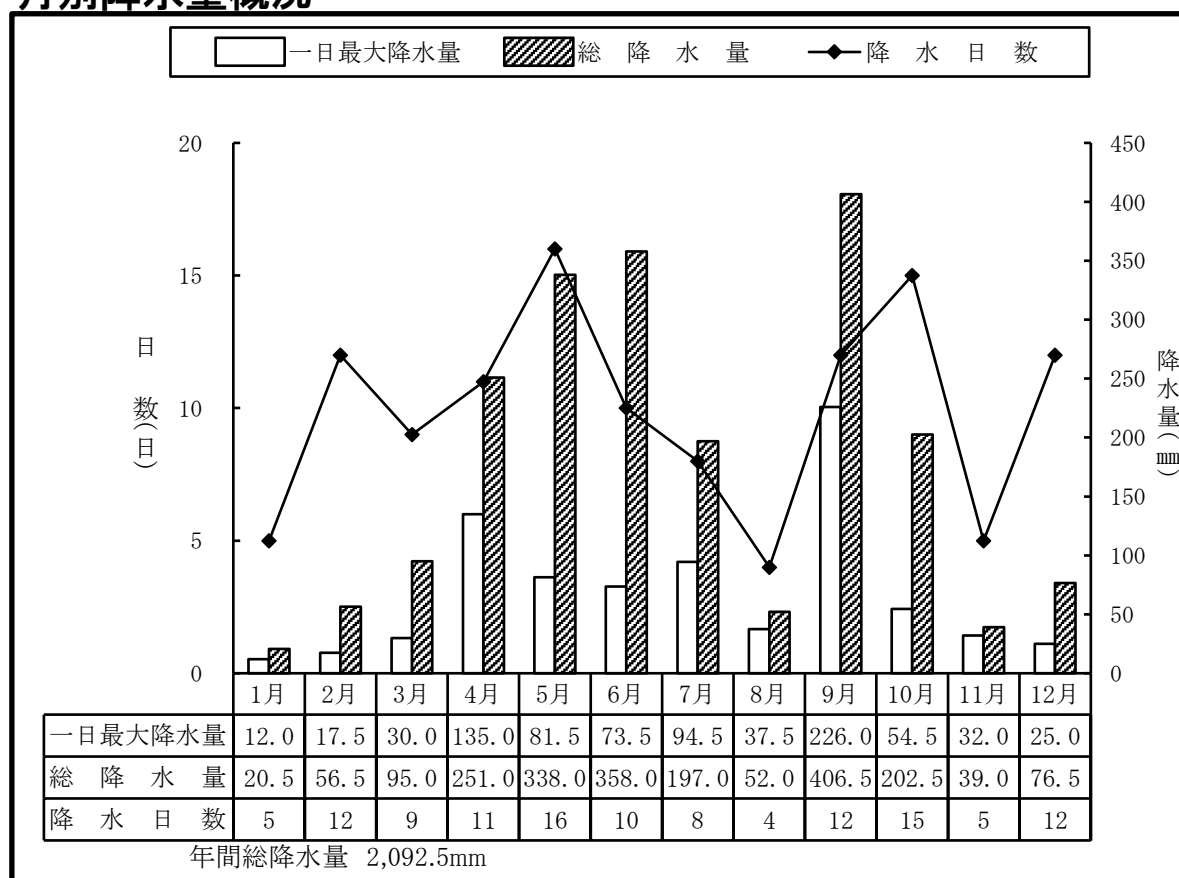
月別気象状況と火災件数



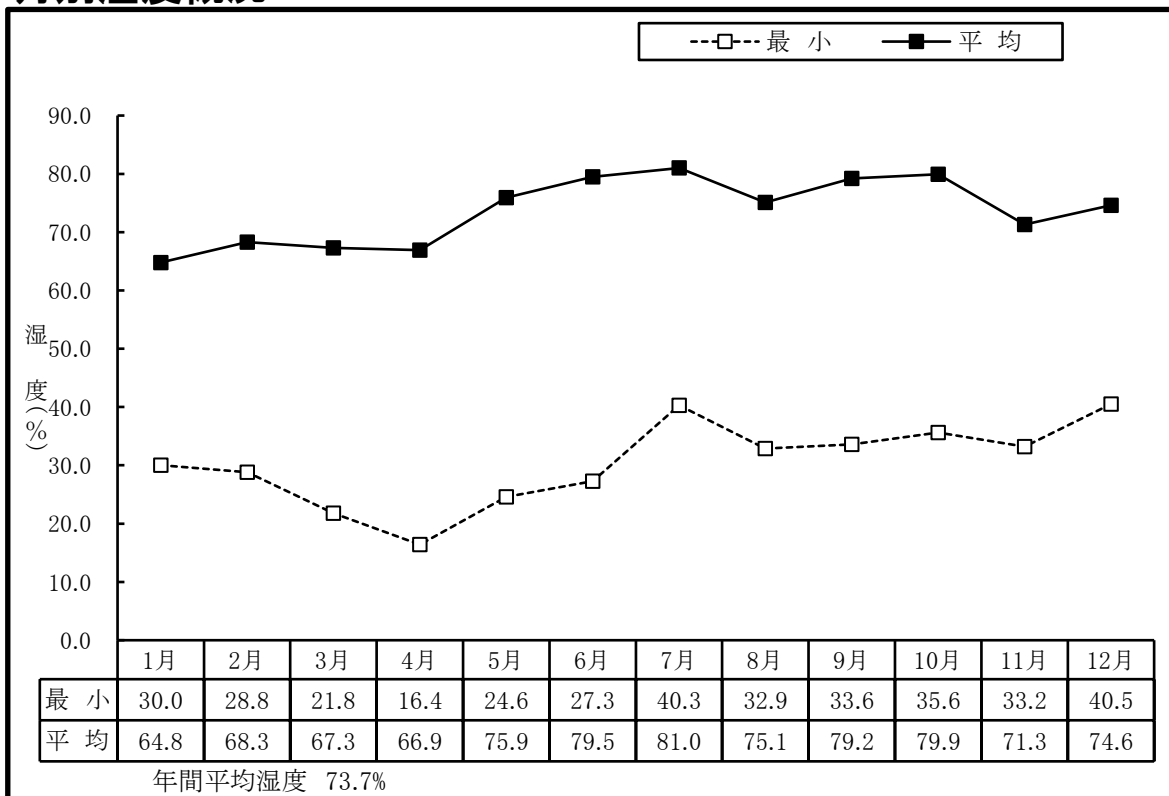
月別気温概況



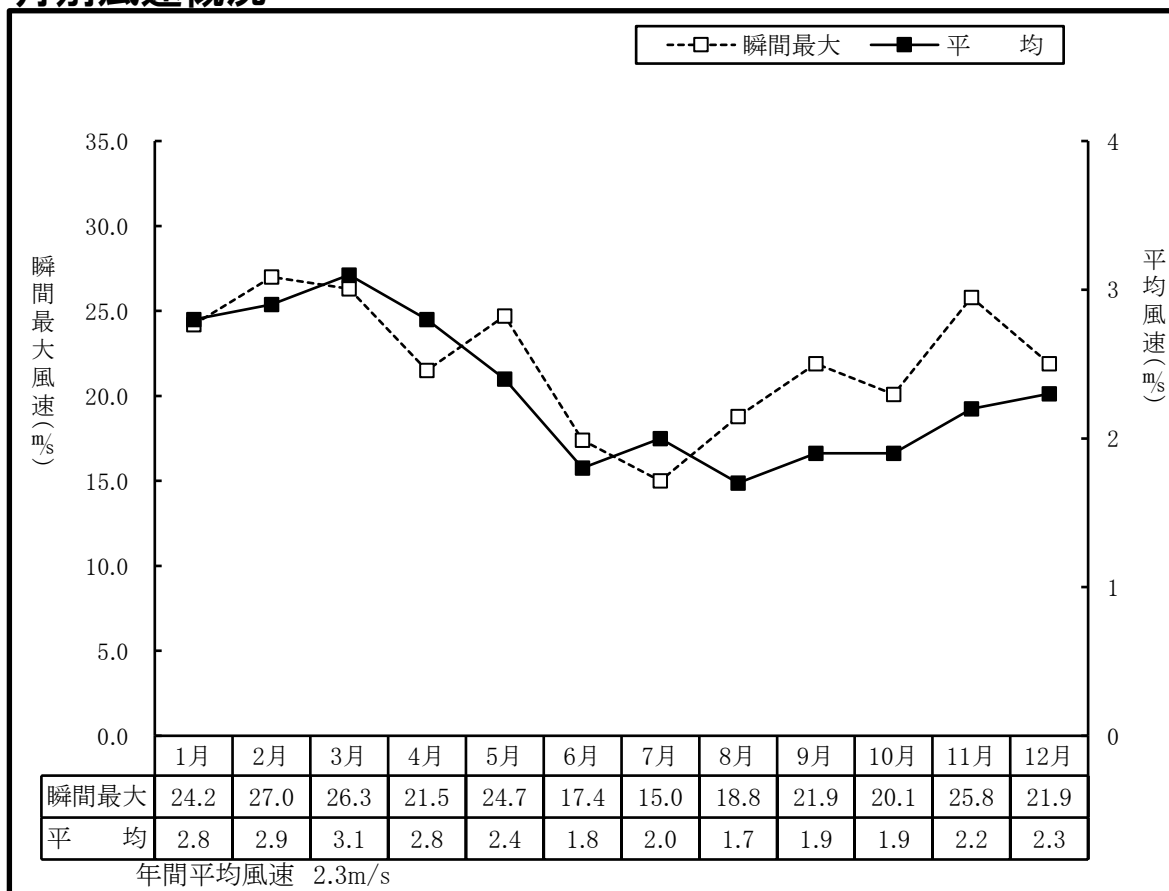
月別降水量概況



月別湿度概況



月別風速概況



気象通報受信状況

月 別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
気象通報														
特別警報	暴風特別警報													
	暴風雪特別警報													
	大雨特別警報													
	大雪特別警報													
警報	暴風警報													
	暴風雪警報													
	大雨警報								2					2
	大雪警報	1												1
	洪水警報													
注意報	風雪注意報													
	強風注意報	2		3	1	1			1					8
	大雨注意報					1	3	2	3	2				11
	大雪注意報	3											1	4
	洪水注意報								1					1
	着雪注意報	1												1
	乾燥注意報			3										3
	濃霧注意報		1	3	1		1	2			1			9
	霜注意報			18	1									19
	なだれ注意報													
	融雪注意報													
	低温注意報	4												4
	着氷注意報													
	雷注意報	3	3	6	4	4	6	8	6	11	8	2	1	62
竜巻注意情報				3	2		1	10	2			4		22
熱中症警戒アラート								40	43	14				97
火災気象通報		3		8	1				1	1				14
三重県気象情報	雷と突風に関する情報	3	3	1			4	22	8	4	12	6		63
	雷と突風及び降ひょうに関する情報				3	4	4							11
	大雨に関する情報				2	11	5	2		5				25
	大雨と雷及び突風に関する情報					2	3	3	2	3	3			16
	台風第10号に関する情報								23	3				26
	雪に関する情報												1	1
	大雪に関する情報	7												7
	顕著な大雨に関する情報								1					1
	強風に関する情報		2	2										4
	強風と雷に関する情報			5										5
	黄砂に関する情報			1	3									4
記録的短時間大雨情報														
土砂災害警戒情報														
早期注意情報		105	101	109	100	103	99	99	106	100	96	109	103	1,230

注1) 同一種類の警報・注意報を継続する場合に発表された警報・注意報は回数に含めない。

注2) 竜巻注意情報は、三重県北中部を対象に発表された一連の情報を1回と数えた回数を示す。

注3) 高温注意情報は2021年度から熱中症警戒アラートとして発表。

注4) 火災気象通報は、三重県北部を対象に発表された回数を示す。

注5) 土砂災害警戒情報は、菰野町に発表された一連の情報を1回と数えた回数を示す。

注6) 早期注意情報は三重県北中部に発表された回数を示す。

通信指令

菰野町と四日市市、桑名市の3消防本部は、平成28年4月1日から 四日市市、桑名市及び三重郡菰野町消防通信指令事務協議会を設置して、四日市市消防本部中消防署中央分署内に三重北消防指令センターを整備し、消防通信指令事務の共同運用を行っています。

三重北消防指令センター119番通報受付取扱状況

種別 消防本部	火災	救急	救助	警戒	悪戯	間違い	訓練 試験	問合せ	転送	合計
菰野町	20	1,880	24	26		222	204	166	7	2,549
四日市市	231	17,110 (1)	102	302	6	2,280 【1】	1,833	1,639	175	23,678 (1)【1】
桑名市	131	11,419	68	192	5	1,339	1,093	916	90	15,253
合計	382	30,409 (1)	194	520	11	3,841 【1】	3,130	2,721	272	41,480 (1)【1】

※【 】はFAX119、()はNet119 それぞれ内数。

通報は重複通報含む。

菰野町消防本部管内月別119番通報受付取扱状況

種別 月	火災	救急	救助	警戒	悪戯	間違い	訓練 試験	問合せ	転送	合計
1	2	196	2	1		12	3	18		234
2		140		1		11	28	15		195
3	6	135	4	2		19	18	11	2	197
4		148	3	2		13	13	15		194
5	3	157	3			17	23	10		213
6	1	152	4	3		21	12	5		198
7	1	158	1	3		17	8	13	1	202
8	1	163	1	3		28	7	25		228
9	2	144		4		17	28	11	1	207
10	3	150	1	3		32	34	15	1	239
11	1	155	5	3		22	18	14	2	220
12		182		1		13	12	14		222
合計	20	1,880	24	26		222	204	166	7	2,549

※【 】はFAX119、()はNet119 それぞれ内数。

通報は重複通報含む。

菰野町消防本部管内回線別119番通報受付取扱状況

種別 回線	火災	救急	救助	警戒	悪戯	間違い	訓練 試験	問合せ	転送	合計
119	固定	2	157		7	26	154	17		363
	I P	5	556		2	18	28	29		638
	携帯	13	1,167	24	17	178	22	120	7	1,548
	FAX									
Net 119										
合計	20	1,880	24	26		222	204	166	7	2,549

通報は重複通報含む。

災害件数の推移

区分 年	火災（件）	救急（件）	救助（件）	人口（人）
昭和 60 年	11	308	3	31,099
昭和 61 年	23	442	3	31,546
昭和 62 年	15	434	7	31,949
昭和 63 年	15	497	9	32,218
平成 元 年	13	569	12	32,443
平成 2 年	9	595	6	32,942
平成 3 年	17	573	6	33,504
平成 4 年	13	558	8	33,902
平成 5 年	6	641	10	34,362
平成 6 年	15	684	10	35,137
平成 7 年	23	694	17	36,036
平成 8 年	30	779	11	36,801
平成 9 年	36	684	12	37,402
平成 10 年	18	705	19	37,785
平成 11 年	21	746	16	38,229
平成 12 年	18	895	23	38,713
平成 13 年	25	995	19	38,939
平成 14 年	21	1,018	9	39,074
平成 15 年	23	1,096	28	39,155
平成 16 年	12	1,091	29	39,494
平成 17 年	23	1,195	33	39,989
平成 18 年	20	1,187	21	40,274
平成 19 年	21	1,248	21	40,550
平成 20 年	19	1,266	23	40,784
平成 21 年	16	1,208	25	40,977
平成 22 年	15	1,242	32	41,025
平成 23 年	9	1,360	22	41,171
平成 24 年	17	1,396	24	41,311
平成 25 年	22	1,473	17	41,329
平成 26 年	19	1,451	19	41,419
平成 27 年	12	1,433	32	41,540
平成 28 年	14	1,452	36	41,803
平成 29 年	20	1,480	39	41,820
平成 30 年	13	1,607	34	41,738
令和 元 年	8	1,598	31	41,610
令和 2 年	10	1,349	36	41,670
令和 3 年	14	1,458	29	41,390
令和 4 年	13	1,777	50	41,189
令和 5 年	15	1,780	34	40,931
令和 6 年	11	1,765	42	40,657
令和 7 年	8	1,904	35	40,363

※昭和60年の災害件数は消防本部発足（4月1日）からの数値

※人口は年度末の数値

令和8年版
消 防 年 報

発 行 日 令和8年8月

編集・発行 菰野町消防本部

〒510-1253

三重県三重郡菰野町大字潤田4418番地

電話 (059) 394-3211

FAX (059) 394-5766

E-mail komonofd@m3.cty-net.ne.jp

